

東大から世界へ

東京大学 留学・国際交流ガイドブック 2018



# Go Global 世界を知るということ 2017年も、語学力も国際経験も十人十色の東大生が、一歩を踏み出し、海外へ飛び出しました。 それはある人にとっては小さな一歩であり、またある人にとっては大きな一歩だったことでしょう。 世界を知り、また世界を知ることで日本を意識し、 世界の友人からの刺激と友情を胸に日本に戻った東大生たち。 彼らは、これまでの環境で身につけた能力に、海外での経験というスパイスを加え、 一味も二味も違う学生に成長し、決意を新たにそれぞれの場所で活動を始めています。 みなさんも、小さくて大きな、世界への第一歩を踏み出してみませんか。

## グローバルキャンパスで 知的リーダーへ成長を



東京大学理事·副学長 羽田 正

「グローバル化」という言葉は、すでに空気のようなキーワードになりつつありますが、その一方で、大学のグローバル化はまだ始まったばかり、これからもますます盛り上げていく必要を実感しています。本学は2014年度に、文部科学省「スーパーグローバル大学創成支援事業」に採択されました。これをうけて、この事業の軸である世界トップ大学との戦略的パートナーシップを中心に、多様な価値観と背景を持った学生・研究者たちが、互いに切磋琢磨するグローバルキャンパスの実現に向け、様々な国際的学習・研究の機会を提供しています。

思えば私の学生時代には、留学と言えば多くの場合、自分ですべてをアレンジして大学を休学するしかなく、単位互換も読み替えもなかった時代で大変ハードルの高いものでした。今の学生には、留学等に関する相談窓口があり、大学からの集約された情報提供、充実した海外渡航保険や危機管理サービス等、また、協定大学への授業料不徴収を伴った交換留学や様々な奨学金制度など、手厚いサポートが提供されていて、羨ましく感じることもしばしばです。交換留学以外にも、本学が推奨・紹介する短期プログラム、海外インターンシップ、海外ボランティア等に参加すれば、自身の視野を広げスキルアップする良い経験となるでしょう。さらに、国内のキャンパスでも、少し気をつけて情報を集めると、世界中から集う学生との交流の機会が数多く見つかるでしょう。これは世界の優秀な人材が集う本学ならではの特典です。

海外留学を決めた学生の皆さんにお願いが三つあります。一つ目に、留学中は皆さんが東京大学の顔になることに誇りを持って勉学に励んでいただきたいこと、次に、留学先で本学を含め日本への留学を希望する学生に出会ったら是非彼らを支援していただきたいこと、最後に、帰国後はぜひ皆さんの経験を学内外でシェアし友人や後に続く人たちへの応援をお願いしたいことです。多様な価値観の中で、人とのつながりを大切にして善意の連鎖を産み出してゆくことも、グローバル化の進むこれからの世界に生きる皆さんの大切な素養の一つと信じるからです。

皆さんが、本学が提供するあらゆる機会を有効に活用し、「世界の多様な人々と共に生き、共に働く力を持った」(東京大学ビジョン2020より)知的リーダーへと成長されることを心から期待します。



### CONTENTS

1 はじめに
ー留学・国際交流を成功させるポイントー
p4-5
Ⅱ 留学・国際交流プログラムの紹介
p7-31
1. 留学・国際交流プログラム
1. 留学・国際交流プログラム (グローバルキャンパス推進本部担当) · · p7-17
(グローバルキャンパス推進本部担当) · · p7-17

2. 留学・国際交流プログラム
(その他のプログラム) ·····p18-31
1) GLP-GEfIL東京大学グローバルリーダー育成
プログラム ・・・・・・p18
2) 教養学部前期課程 主題科目「国際研修」··p19
3) 本部学生支援課 体験活動プログラム・海外企
業体験活動 · · · · · · p20-21
①体験活動プログラム · · · · · · p20
②東大生海外体験プロジェクト
(海外企業体験活動) · · · · · · · · · · · p21
4) 各学部・研究科の取り組み・・・・・・p22-25
①各学部·研究科間 交換留学協定校一覧 · · p22-P24
②その他のプログラム·····p25
5) 個人応募の留学・インターンシップ・ボランティアp26-27

6) 字内でできる国際体験・・・・・・p28-30
①各種プログラム・・・・・・・・・・・・ p28-29
②国際総合力認定制度Go Global Gateway · · p30
7) 卒業後の大学院留学 · · · · · · · · · · · p31
Ⅲ 留学·国際交流関連情報 p32-45
<b>1.</b> 情報収集方法⋯⋯⋯⋯ p33
2. 留学にかかる費用と奨学金⋯⋯ p34-37
1) 費用と奨学金例 ·····p34-35
2) 支援者及び先輩奨学生の声・・・・・・ p36-37

. 笛子におりる子精・単位認正 …	· p38-39
. 語学能力検定試験 · · · · · · · · · ·	· · · · p40
. 安全と危機管理	· · · · p41
. 留学と就職活動	· · · · p42
. 東京大学の留学・国際交流関係	
. よくある質問	

 $_{
m pag}$ 

# はじめに 一国際交流活動・留学を成功させ るためのポイントー

#### 1. 計画を立てよう。

みなさんは東京大学の中はもちろん、大学外でも国際交流・留学のプログラムをたくさん目にする機会があると思います。自分がいま、どのようなプログラムに参加したいかはっきりと決まっていますか? プログラムへ応募する前に、自身の目的やスケジュールをよく考えて計画を立てましょう。

#### ●プログラムに参加する目的は?

プログラムによって学習内容や活動内容が異なります。プログラムの趣旨と自分の目的を照らし合わせてみましょう。 例)自分の専攻分野に関する知識を深めたい! 専攻以外の分野を広く学びたい! 語学力を向上させたい! 外国人の友だちをつくりたい!

#### ●プログラムの実施期間・時期は?

1週間で行われる短期プログラムから、1年間海外の大学で勉強する留学など、プログラム期間は様々です。また、夏休みなどの休暇を利用したプログラムや、キャンパス内でお昼休みに開催されるプログラムもあります。自分の授業計画やカリキュラムなどと照らし合わせてみましょう。 例) 全学交換留学(半年~1年間)(p7) 全学短期派遣プログラム(夏季・冬季2~3週間程度)(p14) 学内での国際交流体験(p28)

#### ●自分の予算とプログラム費用は?

参加費無料のプログラムや奨学金付のプログラムなどもあります。プログラムの要項などから費用を確認しましょう。また、自分で見つけた外部の奨学金に応募することも可能な場合があります。奨学金の応募は、留学などへ申請する前から応募可能なものもあります。プログラムの募集スケジュールと奨学金の募集スケジュールをよく確認しましょう。

例)全学交換留学→プログラムに付属する奨学金有(2017年度例)

※ただし、他の民間企業や政府機関などが募集するより良い条件の奨学金へ応募することも可能です(p34)

#### 2. 情報を集めよう。

自分に適した留学・国際交流プログラムを見つけるため、情報収集はとても大切です。 以下のようなツールを活用して、主体的に情報を集めましょう。

また、実際にプログラムに参加した先輩学生の体験談なども貴重な情報源です!

#### 各学部・研究科の担当窓口、ポータルサイト(p43)

- → 学部·研究科による取り組み(各種交流プログラム、学部·研究科間交換留学)
- → 単位認定・学籍、授業履修等の相談

#### Go Globalセンター、東京大学Go Globalウェブサイト、Facebook/ Twitter等 (p33)

- → 全学交換留学、UC派遣プログラム、全学短期派遣プログラム
- → その他、留学・国際交流プログラム全般
- → プログラムに参加した先輩の体験記

#### 春の留学フェア、秋の留学説明会

→ 全学交換留学、全学短期派遣プログラムのほか、学内外のプログラムを紹介。 留学経験者の先輩と直接話して相談できるチャンスです。

【詳しくは情報収集方法のページを(p33)をチェック!】

留学情報のほか、国内外で 参加できる国際交流プログラ ムについて随時情報発信中!





2017年春の留学フェアの様子



Go Global Facebookページ

#### 3. 応募条件をクリアしよう。

応募したいプログラムが決まったら、プログラム要項などで応募資格・条件を確認しましょう。多くのプログラムで、プログラムに応募する時点で資格を満たしている必要があります。応募までに計画的に応募資格・条件をクリアしましょう。

#### 応募資格・条件の一例

#### ●語学能力(p40)

プログラムが定める語学試験を受け、応募前に基準に達している必要があります!試験によっては年に数回しか受験できなかったり、成績・スコアが出るまでに時間がかかったりするものもあるので、計画的に受験しましょう。

#### ●学業成績

留学プログラムや奨学金の選考で学業成績も考慮される場合がほとんどです。ただし、語学力・志望動機・学習計画・面接等も含めて総合的に選考されるので、積極的にチャレンジしてください!

#### ●東京大学への在籍

東京大学が企画するプログラムや東京大学を通じて応募するプログラムの多くで、プログラム期間中を通して東京大学に在籍していること・プログラム期間中に卒業・修了しないことを条件としている場合があります。事前に募集要項を充分確認しましょう。

#### ●その他

プログラムによって以下のような細かい条件が定められている場合があります。 年齢、学年、専門分野、今までに履修した授業、etc

【プログラムのウェブページや募集要項を丁寧に読むことがポイントです!】

#### 4. さあ、プログラムに応募しよう。

ここではたくさんあるプログラムのうちの一例を紹介します。各プログラム紹介のページやウェブサイトなどで詳細を確認しましょう。



# П

# 留学・国際交流プログラムの紹介 թ7-31

1.	留学・国際交流プログラム(グローバルキャンパス推進本部担当)·····p7-17
1)	全学交換留学·····p7-11
2)	UC派遣プログラム · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
3)	全学短期派遣プログラム ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p14-17
2.	留学・国際交流プログラム(その他のプログラム)・・・・・・・・・・・・ p18-31
1)	GLP-GEfIL東京大学グローバルリーダー育成プログラム ・・・・・・・・・・・・・・ p18
2)	教養学部前期課程 主題科目「国際研修」・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p19
3)	本部学生支援課 体験活動プログラム・海外企業体験活動・・・・・・・・・・・ p20-21 ①体験活動プログラム・・・・・・・・・・・・・・・・ p20 ②東大生海外体験プロジェクト(海外企業体験活動)・・・・・・・・・・・・・・・ p21
4)	各学部・研究科の取り組み · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
5)	②その他のプログラム · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
6)	学内でできる国際体験・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
7)	太娄终の十党院窃党

# 留学・国際交流プログラム (グローバルキャンパス推進本部担当)

### 1)全学交換留学

#### 概要

東京大学と東京大学の協定校(※1)が1学期~1年の間学生を交換する留学プログラムを交換留学と呼びます。東京大学が授業料を徴収せずに協定校の学生を受け入れる代わりに、東京大学の学生は東京大学に授業料を納めれば、留学先での授業料は支払わずに協定校で科目を履修したり、研究指導を受けたりすることができます。これを大学全体で実施するのが「全学交換留学」であり、各学部・研究科が独自に行うのを「学部・研究科間交換留学」と呼びます。

全学交換留学のプログラムではどの学部・研究科の学生でも応募することが可能です。

#### 《メリット》

#### ①評価の高い協定校への留学

東京大学の協定校は世界的に評価の高い教育機関です。事前に多くの情報が得られ、現地でのサポート体制も充実しています。

#### ②留学先の協定校では授業料の支払いが不要

留学先の授業料が不要になる代わりに、東京大学の授 業料は納める必要があります。(※2)

#### ③協定校では交換留学生として優遇

宿舎を優先的に確保してもらえたり、留学生用カウンセリングを受けられたりなど、特段の配慮をしてもらえるケースが多いです。

#### ④留学で取得した単位を互換

協定校で取得した単位が東京大学の単位として認定される可能性があります。(※3)

#### ⑤原則、派遣学生全員に奨学金給付(返済不要)

支給額は年度や地域によって異なりますが、月5万~10 万円ほど支給されます。また、東京大学や民間財団などが 募集する他の奨学金への応募も可能です。(p34参照)

#### 《主な資格・条件(一例)》

- ●留学期間を通じて東京大学の正規課程に在学する者。留学期間内に東京大学を卒業・修了する者、東京 大学の学部から大学院に進学する者は対象外です。
- ●協定校が定める交換留学生の資格·条件を満たす者。 (語学能力、所属学部・研究科、学年 等)

#### 《選考方法》

#### ①学内審査(書面・面接審査)

書面・面接審査により学内選考を行います。審査では、 学業成績・語学能力・申請書の記述内容等が考慮され ます。

#### ②協定校での審査(書面審査)

学内選考を通過した学生は協定校が定める申請書類を作成します。東京大学が留学先の協定校へ学生を推薦・申請書類を提出し、協定校での審査が行われます。協定校での審査を通過すると、留学決定です!

<sup>※1</sup> 東京大学が学生交流覚書を締結している海外大学のこと。

<sup>※2</sup> 留学期間中の身分は「休学」ではなく「留学」となり、東京大学の授業料を納める必要があります。大学院生の場合、その活動の実態により「留学」又は「研究指導の委託」の手続きを取ることになります。

<sup>※3</sup> 認定の基準は所属する学部/研究科により異なり、履修した科目によっては認定されない場合もあります。留学時の学部・研究科の担当窓口に事前に相談しましょう。(p43参照) ※本ページの情報は2018年4月1日現在の情報です。変更される場合がありますので、詳細は最新の蒐集要項を確認してください。

#### 全学交換留学協定校一覧

国·地域	協定校	対象	2017 -2018 派遣実統 (人)
台湾	国立交通大学	学部/院	0
台湾	国立台湾大学	学部/院	4
中国	上海交通大学	学部/院(M)	0
中国	清華大学	学部/院	2
中国	南開大学	学部/院(M)	0
中国	南京大学	学部/院(M)	0
中国	復旦大学	学部	0
中国	北京大学	学部/院	5
香港	香港大学	学部/院	2
香港	香港科技大学	学部	0
インドネシア	ガジャマダ大学	学部/院(M)	0
韓国	高麗大学	学部/院(M)	0
韓国	ソウル大学	学部/院	2
韓国	浦項工科大学校	学部/院	0
韓国	延世大学	学部/院	0
マレーシア	マラヤ大学	学部/院(M)	0
フィリピン	フィリピン大学	学部/院(M)	1
シンガポール	シンガポール国立大学	学部	6
シンガポール	ナンヤン工科大学	学部/院	0
タイ	チュラロンコン大学	学部/院	1
ブラジル	サンパウロ大学	学部/院	0
チリ	チリ大学	学部/院	0
チリ	チリ・カトリック大学	学部/院	0
メキシコ	エル・コレヒオ・デ・メヒコ	学部/院	1
メキシコ	メキシコ国立自治大学	学部/院	1
カナダ	トロント大学	学部/院	5
カナダ	ビクトリア大学	学部	*
カナダ	ブリティッシュ・コロンビア大学	学部/院	5
カナダ	マギル大学	学部	3
アメリカ	イェール大学	院	1
アメリカ	イリノイ大学アーバナ・シャンペーン校	学部	5
アメリカ	ジョンズ・ホプキンス大学	学部	2
アメリカ	スウァスモアカレッジ	学部	1
アメリカ	ノースイースタン大学	学部	0
アメリカ	プリンストン大学	学部	1
アメリカ	プリンストン大学大学院	院	0
オーストラリア	ワシントン大学	学部/院	3
オーストラリア	アデレード大学	学部/院(M)	1
オーストラリア	オーストラリア国立大学	学部	1
オーストラリア	クィーンズランド大学	学部/院(M)	2
オーストラリア	シドニー大学	学部/院	4

国·地域	協定校	対象	2017 -2018 派遣実績
オーストラリア	メルボルン大学	学部/院	4
ニュージーランド	モナシュ大学	学部/院(M)	0
ニュージーランド	オークランド大学	学部/院(M)	3
デンマーク	オタゴ大学	学部/院(M)	1
フィンランド	コペンハーゲン大学	学部/院(M)	12
フランス	ヘルシンキ大学	学部/院(M)	4
フランス	エコール・ポリテクニーク	学部/院(M)	0
フランス	グルノーブル・アルプ大学	学部/院	2
フランス	EHESS(社会科学高等研究院)	院	0
フランス	ストラスブール大学	学部/院	3
フランス	パリ政治学院	学部/院(M)	4
ドイツ	ケルン大学	学部/院	4
ドイツ	ベルリン自由大学	学部/院	3
ドイツ	ミュンヘン・ルートヴィヒ・マクシミリアン大学	学部/院	2
アイルランド	トリニティカレッジ・ダブリン	学部/院	0
アイルランド	ユニバーシティ・カレッジ・ダブリン	学部/院	1
イタリア	ローマ大学ラ・サピエンツァ	学部/院	0
オランダ	フローニンゲン大学	学部/院(M)	0
オランダ	ライデン大学	学部/院(M)	3
ロシア	サンクトペテルブルク大学	学部/院	2
スペイン	マドリード自治大学	学部/院	*
スウェーデン	ウプサラ大学	学部/院(M)	0
スウェーデン	スウェーデン王立工科大学	学部/院	1
スウェーデン	ストックホルム大学	学部/院	2
スウェーデン	ルンド大学	学部/院(M)	2
スイス	ジュネーヴ大学	学部/院	2
スイス	スイス連邦工科大学チューリッヒ	学部/院(M)	8
英国	ウォーリック大学	学部	3
英国	エクセター大学	学部/院	2
英国	グラスゴー大学	学部/院(M)	0
英国	サウサンプトン大学	学部	2
英国	シェフィールド大学	学部/院	1
英国	ダラム大学	学部/院	4
英国	ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン	学部/院(M)	3
英国	ロンドン大学東洋アフリカ学院	学部/院(M)	3

※2018年2月1日現在、交換留学を実施するため、東京大学が学生交流覚書を締結している協定校を掲載しています。覚書の更新や取扱いの検討等により調整中につき掲載されていない協定校があることや掲載されていても当該年度に交換留学を実施していない場合もあるため注意すること。

※ビクトリア大学・マドリード自治大学は2018-2019から募集を始めました。

※過去の詳細な派遣実績等はGo Globalのウェブサイトに統計資料として掲載しています。

#### 留学時期と募集スケジュール

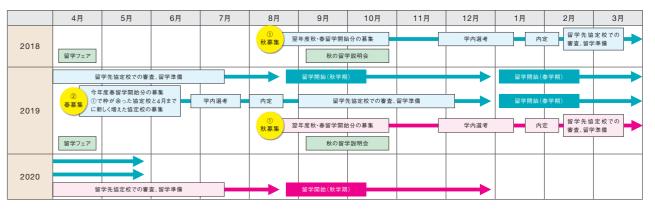
1学期間あるいは1年間が一般的な留学期間です。実際の詳細な留学期間は留学先の協定校の学事暦(Academic Calendar)(※1)に基づきます。1年間の留学を希望する場合は、原則として秋学期からの1年間となりますが、春学期が学事暦の1学期目となる大学については、春学期開始の1年間の留学として応募することが可能です。

学内募集は年に2回行います。

- ①秋募集(7月-11月頃):翌年の秋学期(8月-10月)留学開始分・翌々年の春学期(1月-4月)留学開始分を募集
- ②春募集(秋募集の翌年の4月-6月頃): 翌年の春学期(1月-4月)留学開始分を募集
- ※前年度の秋募集で余った派遣枠及び春募集までに加わった新規協定校の派遣枠を募集します。

#### 全学交換留学募集サイクル(2019-2020)

※2018年4月現在の予定であり、変更される場合があります。このスケジュールは全学交換留学のものであり、部局間の交換留学については、部局ごとに異なります。



氏名:平田 紗和子さん

所属学部·研究科·学年(留学開始時): 法学部3年

留学先大学名:Johns Hopkins University, Krieger School of Arts ands Sciences

留学期間:2017年8月~2018年5月(10ヶ月間)

学生体験記全学交換留学

大学のあるボルチモアは人種間の 分断・格差など、アメリカの社会問題の縮図が見える街です。治安も あまり良くないですが、大学周辺は 厳重な警備に守られているので、 敬遠せずに飛び込んでみて下さい!

#### 米国東海岸で政治学を学ぶ

#### ①留学を決めたきっかけ

以前から生まれ育った日本以外で暮らし、価値観や物の見方を広げたいと思っていました。大学で国際政治・外交に興味を持ち、国際社会で重要な役割を占める米国の視点を学びたいと思い、同国への留学を希望するようになりました。

#### ②留学先を選んだ理由

ジョンズホプキンス大学はワシントンDCに近く、また政治学部が充実しているため、米国の外交や政治を学ぶのに適していると考えました。大規模大学ながら政治学では少人数の授業が多く、授業の種類も豊富なことも魅力でした。

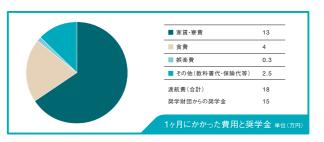
ここは決して楽な大学ではありません。図書館は深夜まで課題に追われる学生で 賑わっていて、治安の関係上東京のように自由にも出歩けません。それでも、ここ に来ることができて本当に良かったと毎日感じているのは、ひとえに密度の濃い授 業、素晴らしい先生方や友人たちのおかげです。授業ではこちらに来て大量の文 献を読みこなすことの重要性、自分で考えることの大切さに気付かされました。発 表やレポートがある度に苦労しますが、先生方はいつでも親切に相談に乗ってくだ さいます。こちらでは現地学生や他の交換留学生との交流も深めています。それを 通じ自分を相対化して見ることを学び、また言語や文化の違いがあっても深い友情 を育めることを実感しました。

#### ③留学先の勉強内容

こちらでは履修する授業に制約はありません。私は専門である政治 学を多角的に学びたいと考え、政治学部の授業を、政治思想から 憲法、安全保障、地政学まで幅広く履修しています。会話力をつけ るためプレゼンの授業も履修しました。

#### ④留学先を勧める点

政治学の授業は充実しており、少人数のものが多いです。課題は とても多いですし、授業中のディスカッションについていくことも大 変ですが、その分考える力がつき、深く学べているように思います。 教授との距離の近さも魅力です。



※1 海外の大学は一般的に1学期目::秋学期(8-10月開始、12月終了)、2学期目:春学期(1-2月開始、4-5月終了)の2学期制が多くなっています。例えば、2019年の秋学期(1学期目) ~ 2020年の春学期(2学期目)という海外大学の1学年(Academic Year)を学内募集では2019-2020年期(AY2019-2020)と呼んでいます



氏名:井下 紀子さん

所属学部·研究科·学年(留学開始時):農学部3年 留学先大学名:フィリピン大学ロスバニョス校 農学部 留学期間:2016年8月~2017年5月(10ヶ月間)

フィリピン人は自分の英語にフィ リピノ語が混ざっていても気づい ていないようです。1年いるとだん だん染められていきます。Wait a minuteをWait langと言うように なったら立派なフィリピン人です。

#### 学びも遊びもぎゅぎゅっと詰まった南国の1年間

#### ①留学を決めたきっかけ

なんとなく長期で途上国に行きたいと思ってボランティアなども見て いましたが、全学交換留学だとあまりお金がかからないと知ったから です。それを知ったのが締切ギリギリだったのであとは考える間もあ りませんでした。

#### ②留学先を選んだ理由

途上国開発に興味があったのと日本の農学との共通性も捨てられ なかったのでコメ食の東南アジアで考えました。フィリピンは一度短 期で行って雰囲気が好きだったことと、やはり英語が通じることから 決めました。

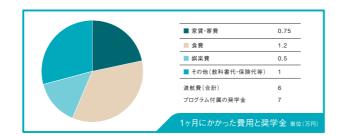
現地学生の半分くらいのコマ数の授業+後半はミニ調査をしていました。授業は 課題が多く、怠け癖のあるフィリピン人とのグループワークは大変でした。中身は面 白く、東大の授業の倍くらい学んだと思います(笑)発表の形がなぜかよく歌や劇 になるのには閉口しました。調査は大学の友達を通訳に近くの村でミミズ堆肥に ついてインタビューをしていました。私はクリスチャンなのですがインドネシア人のム スリムとルームメイトになったのはとても面白かったです。無宗教の日本人よりもむ しろ分かり合えてすごく良い友達になりました。アドバイザーが山奥の棚田地帯の 調査に連れていってくれたり、休暇に国内の観光地に行ったりと旅行もたくさんで きて大満足でした。

#### ③ 留学先の勉強内容

農村社会学やコミュニティ開発論の授業を取りました。東大では理 系の農学をしているので新鮮でした。現地調査も少しだけさせても らいました。趣味で取ったプランテーション作物の授業でココナツ にやたらに詳しくなりました(笑)

#### ④留学先を勧める点

ロスバニョスはフィリピン大学の他に国際稲研究所もあり、フィリピ ンの農学王国といった町です。熱帯農業・林業あるいは途上国コ ミュニティ開発、開発農業経済などに興味がある方にはお勧めで す。外国人も多く住みやすい街です。



#### 学生体験記全学交換留学



氏名: 葛城 正太郎さん

所属学部·研究科·学年(留学開始時):教養学部2年 留学先大学名:香港大學 Faculty of Business and Economics

留学期間:2016年8月~2017年5月(10ヶ月間)

帰国後、友人や家族から声が大き くなったといわれます。香港の喧騒 はすさまじく、バスやトラムの乗客も ワイワイと騒がしい。友人と話すと のです。

#### 日本男児よ、香港でアジアの勢いに揉まれてみよ!

#### ①留学を決めたきっかけ

もともと海外に出ることに強い憧れがあり、学部のうちから留学して 語学、心身ともに海外に慣れておこうという思いが強くありました。 海外大学でのアウトプットの機会の多い実践的な学習内容にも触 れておきたいと思ったのもきっかけの一つです。

#### ②留学先を選んだ理由

とにかく英語で実践的な学習がしたいと思っていました。法律(英 米法) かビジネスを学部二年から学べる大学として候補に挙がった のが香港。経済的勢いのある中国本土に近く、しかも英語で学習 できるという一挙両得な香港に惹かれました。

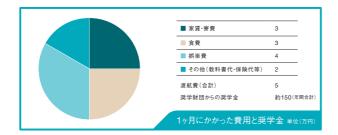
香港に到着したのは夏、すさまじい湿気の中で暑苦しい街の喧騒に圧倒されてから というものの、しばらくは周りに圧倒されてばかりでした。国際度で世界一といわれ るほど多国籍なキャンパス内では、訛り全開の英語でも進んで発言する生徒達に 圧倒され、会社の営業さながらのスーツまで着込んだ授業内プレゼンではその本気 度に圧倒され、街に出てもアジアの勢いそのもののような混沌に圧倒され…。それ でも、日本人たる自分の価値を何とか見出だそうと、香港で働く先輩方の助言も受 けつつ、授業から週末のパーティー、中国本土やマカオへの旅行まで、徹底的に楽 しんでやろうという意気込みで過ごした二学期間で、語学力にとどまらない確固た る自信、周りを楽しませ自分も楽しめる"ツボ"のようなもの、を得ることができました。

#### ③ 留学生の勧強内容

香港商法、会社法、ビジネス(マーケティングなど)、広東語。ほぼす べての授業でプレゼンがありました。また、広東語のクラスでは実際 に点心を食べに行き広東語で注文をしてみる授業があり香港での 生活の助けになりました。

#### ④留学先を勧める点

アジアでありながら欧米的でもある点。言語面では、広東語、中国 語、英語を学べ、文化面や人的交流ではアジアはもちろん中東、欧 米をも体感でき、それでいて経済的な勢いはまさにアジアのそれ。ま さにいいとこどりでした。





氏名:市原 優子さん

所属学部·研究科·学年(留学開始時): 文学部4年 留学先大学名:ケルン大学 Philosophische Fakultät

留学期間:2017年9月~2018年2月(6ヶ月間)

留学中には何やかんやトラブルが 発生するものだと思います。私の 場合は寮に住み始めて1週間くら い経ったころ、共用部にあった隣 の子の机に傷をつけてしまい、弁 償することになりました。今となって は良い思い出です。

#### ジャーマン☆ジャーニー

#### ①留学を決めたきっかけ

将来海外での仕事を希望しているので、海外に長期間住む経験を 社会人になる前にしておきたかったからです。また、学んだドイツ語 のスキルを仕事でも使えるレベルまで向上させたかったからです。

#### ②留学先を選んだ理由

留学に申し込んだ当時、就職活動がかなり忙しくドイツ語の試験を 留学の面接までに受験する余裕が無かったので、既にあった英語 のスコアでも基準を満たし応募することが出来る、尚且つドイツにあ るケルン大学を選択しました。

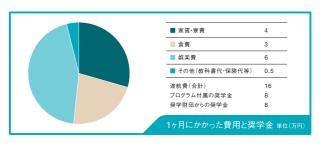
私はCologne Global Study Program(以下、CGSP)に参加し、主にEUについ て勉強する授業を受講していました。ヨーロッパの歴史を、絵や画像を通して勉強す る授業が個人的に特に好きです。学習全般については、1/5に卒論提出を控えてい た為、CGSPとドイツ語と卒論の比重が1:1:1ぐらいでした。ドイツ語を向上させること が今回の日標の1つであったため ドイツ語の動強は週6コマの授業に加え タンデム という語学を教え合う友達と週2回ほど会っていました。休日にはかなり頻繁に旅行を しています。EUは本当に一つの国の様に機能しており、パスポートをチェックされない こともザラで非常に驚きました。しかし、同じヨーロッパといえど、当然ですが国によっ て文化はかなり異なります。そういった違いを肌で感じられるという点で、旅行は非常 におすすめです。私は、実は3年生の時に一度全学交換留学に応募し、準備不足が 故に面接で失敗してしまいました。ですから今回は2度目のチャレンジでした。結果とし て、もう一度チャレンジして、本当に良かったです。今留学に既に申し込んでいらっしゃ る方は是非準備を抜かりなく!!また、勇気が出ないという方は、始めは失敗してもいい! くらいの気持ちでも良いので、とにかくチャレンジされることを是非お勧めします。

#### ③留学先の勉強内容

主に二種類あり、ヨーロッパの歴史や法律、社会制度に関する授 業とドイツ語の語学。前者に関してはEUについて勉強するプログ ラムに所属しており、週に3コマ程受講。後者に関しては、リスニン グなどの授業も含め、週に6コマ程受講しました。

#### ④留学先を勧める点

ケルンは非常に住みやすい街で、かつケルン大学は、留学生が多く 様々な国籍の人に出会えると思います。特に11/11の、カーニバル の準備が始まる日を祝うというのはライン川特有だそうで、凄まじい お祭り騒ぎになるのでとても面白いと思います。



#### 学生体験記全学交換留学



氏名: 西村 拓さん

所属学部·研究科·学年(留学開始時):教養学部3年

留学先大学名:トロント大学 教養学部

留学期間:2017年9月~2018年4月(8ヶ月間)

寒いトロントだからこそ(?)楽しめる 無料で、「飛び込み(drop-in)」で 楽しめ、友達も作れるのでオススメ です。

#### 「多様性が強み | のカナダ・トロントで学ぶ

#### ①留学を決めたきっかけ

多様な背景や価値観を理解した上で英語での対話や議論したい、 出身の学生と各々の事情を踏まえながら政治や国際関係を学びた い、そして、漠然と「面白そう」という3つの理由から留学しました。

#### ②留学先を選んだ理由

多様な背景の学生と交流がしやすいと思われるカナダ・トロントの 多様性や包摂性、専門の国際関係論や政治学の教育のレベル、 そして申請当日の直感の3つの理由からです。

事前の計画も大事ですが、現地で「いかに積極的に足を運ぶか」が大切だと感じ ました。日本学会での学生セッションの企画ができたのも知り合いから頂いた機会 でしたし、教授から聞いた都市構想関連のイベントは刺激的でした。就活や留年が ネックという意見もありますが、トロントという恵まれた環境での1年は、自分にとって 「最も充実した遠回り」という大きな価値です。留学に少しでも関心がある人は、 留学経験者にアポを取り「とにかくたくさん話を聞く」と、自身の金銭、語学、学力的 な懸念も解消され、留学のイメージもわくと思います。一方で、行ってみないとわから ないことも多く、私の場合、最後は直感が大きかったのですが。結果的に、その時 留学しない選択をしても、そこで得た学びや繋がりは今後も活きると思います。

#### ③留学先の勉強内容

「都市地域におけるイノベーションと技術知識の移転」「宗教と政 治」「カナダと比較政治学」など関心のままに履修していますが、カ ナダの多文化主義の形成やトロント発展の背景など繋がることも 多いです。

#### ④留学先を勧める点

トルドー首相が「多様性が強み」と発言したように、排外主義が広 がる中でも多文化主義を維持・尊重し、様々な違いに寛容な風土 や、AI研究やスマートシティ構想で盛り上がる都市の勢い、それを 求めて世界中から教授や学生が集まる点です。



page 10 page 11

### 2) UC派遣プログラム

(カリフォルニア大学バークレー校・デービス校派遣プログラム)

#### 概要

米国カリフォルニア大学二校との協力により、東大生を1学期~1年間派遣する留学プログラムです。 バークレー校のAmerican and International Study Program(AISP)ではアメリカ政治と国際関係を勉強します。デービス校のGlobal Study Program(GSP)ではデービス校で開講されているほぼ全ての授業から選択することができ、また、英語が苦手な学生には語学コースも実施されています。

#### 《メリット》

交換留学以外の方法で1学期~1年間、長期の留学が可能です。基本的には授業料等の費用は全て自己負担となりますが、東京大学や民間財団などの留学用の奨学金に応募することもできます。

#### 《募集・選考スケジュール》

例年3月~4月上旬頃まで募集を行います。学 内選考後、4月中に所属学部/研究科を通じて 学内選考結果を通知します。学内選考を通過 した学生は、UC各校へ直接申請を行います。

#### プログラム詳細

プログラム名	留学時期	費用(授業料)	募集人数	語学条件※
カリフォルニア大学 バークレー校 AISP	Fall:8月-12月 Spring:1月-5月	24,000ドル / Semester(宿泊費込み)	5名程度	TOEFL iBT 90 IELTS 7.0 (Academic Module)
カリフォルニア大学 デービス校 GSP	Fall:9月-12月 Winter:1月-3月 Spring:4月-5月	5,815ドル / Quarter(宿泊費別)	20名	TOEFL iBT 61-80 IELTS 6.0-7.0 (Academic Module)

※TOEFL iBT/IELTSのほか、UCバークレー校ではCambridge Proficiency Exam, Cambridge Certificate of Advanced Englishを、UCデービス校ではTOEFL PBTを受け付けています。また、UCデービス校では保有するスコアによって、取れるコースが異なります。詳細は募集要項を確認してください。

※本ベージの情報は2018年4月1日現在の情報です。変更される場合がありますので、詳細は最新の募集要項を確認してください。



氏名:小山 愛さん

所属学部・研究科・学年(留学開始時): 文学部3年 留学先大学名: カリフォルニア大学バークレー校 留学期間: 2016年8月~2017年5月(10ヶ月間)

大統領選挙に対する大学の反応が印象に残っています。教授やTAが結果にショックを受けてしまい、中間試験が延期になったり、講義が休講になったりしました。

学生体験記UC派遣

#### You Only Live Once

#### ①留学を決めたきっかけ

一つ目は英語力を向上させるため、二つ目は異文化交流、三つ目に リベラルな環境で勉学に励むためです。元々バックパッカーでした が、旅行だけでは学びの経験として不十分だと感じ、留学を決意し ました。

#### ②留学先を選んだ理由

学校、土地ともに魅力ある場所だからです。世界トップの公立校でありながらも批判精神に富んだ校風に惹かれました。さらにカリフォルニアは観光地も多く、余暇も充実させたかったためです。

AISPプログラムでは政治科学部を中心に、現地学生と同じ講義を三つまで受講できます。私は政治科学系と社会学系を受講しました。毎週大量のリーディング・ライティングに加え、中間試験が複数回課されます。課外活動では大学のアニメクラブに所属したり、学外でホームレスに食事を提供するボランティアに参加したりしました。余暇はアメリカ国内やキューバ、ドミニカ共和国、メキシコを旅行しました。日常生活から学問まで様々な困難や葛藤がありますが、留学を後悔したことは一度もありません。卒業を延長して将来を熟考することもできます。興味があるならばまずは一歩を踏み出して、自分の可能性に挑戦してみてください。

#### ③留学先の勉強内容

まず政治科学部で国際関係、国際倫理学、アメリカ政治、共産主義国家の政治に関して学びました。それらに加えてEthnic Studies Departmentの講義を受講し、講義やフィールドワークを通じてアメリカの移民や人種差別問題を学びました。

#### ④留学先を勧める点

充実した講義、施設、勉学はもちろんですが、International Houseという留学生向けの寮もバークレーならではだと考えています。 葛藤や衝突もありましたが、それを乗り越え、留学後も会える仲間が世界中にできました。



# anavs

氏名:文 剛英さん

所属学部・研究科・学年(留学開始時):経済学部3年 留学先大学名:カリフォルニア大学デービス校 留学期間:2017年9月~2018年6月(10ヶ月間)

#### 学生体験記UC派遣

アメリカで年齢確認などをする際 Photo IDが必須なのですが、パスポートを持ち歩くのは危ないので、国際学生証を作っておくといいと思います! あと国際免許証も忘れずに!

#### 異国に根をおろすということ

#### ①留学を決めたきっかけ

元々グローバルに活躍できるキャリアを歩みたいと思っており、そのためには英語力の向上と豊富な海外経験が必要だと考えていました。そんな中、東大のプログラムでUCSDに短期留学した時、米国大学特有のアカデミックで多様性に富んだ雰囲気に魅了され留学へ気持ちが傾きました。

#### ②留学先を選んだ理由

UC派遣プログラムは2017年の9月開始に対して学内応募締切が同年4月と遅く、UCSD訪問以降最も早く留学することが可能だったからです。

やはり長期留学のメリットや意義は実際に長期間"異国の地に根をおろすこと"だと思います。確かに短期留学でも海外文化や英語に十分体感できます。しかしそれは異文化体験のワクワクと同時にある種の"お祭り気分"の高揚感を必然的に伴います。飲み会での話が聞きとれなくて萎えたり、パーティーでの周りのハッチャケ具合にビビったり、アメリカ入国するまで自分の住居が決まらず焦ったり、サークルのケースコンペティションでうまくいかずに凹んだり、ルームメイトとガチで喧嘩して仲直りする、と言った"旅行"以上の体感は"異国に根をおろす"からこそではないかなと思います。学生のうちに"異国文化を全身で体感じ自らの文化を相対化する"という体験は、必ず将来の自分の助けとなるだろうと信じています。

#### ③留学先の勉強内容

プログラムの性質上、学部生の授業であればなんでも(満員でない限り)履修することができるので、専攻の経済学のみならず、少し英語非母国語話には挑戦的な人文系(文化人類学、哲学)やプログラミングも勉強しています。

#### ④留学先を勧める点

デービスはサンフランシスコから車で2時間の小さな大学都市。治安 も全米でトップクラスに良いので安心して留学生活を送るには最高 の街だと思います。キャンパスは広くて移動には自転車が必須です。



※このほか、左ページに記載のある授業料等がかかります。

### 3) 全学短期派遣プログラム (サマー&ウインタープログラムなど)

#### Motivation for your Future

「自分の語学力が把握できた」「積極的なディスカッションの面白さを知った」「大切な友人が世界にできた」など、短期間の留学でも 長期的な収穫を得ることができます。

#### 第1回サマープログラム

原則、参加学生には返済不要の奨学金\*を支給しているとともに、主催大学から授業料・宿泊料等の免除・割引が受けられるプログラムもあります。

2018年夏留学分の募集は終了しましたが、参考までに以下のようなプログラムを募集しました。2019年夏留学分については、プログラム等の変更の場合もありますが、2018年12月頃に募集を開始する予定です。

#### ●IARU Global Summer Program

IARU (International Alliance of Research Universities:国際研究型大学連合) に加盟する世界トップクラスの11大学によるプログラム。毎年6月から8月頃に2~6週間程度の期間で開催され、各校がお互いに学生の派遣・受入を行い、選抜された学生のために集中的なプログラムを実施します。IARU加盟大学は日本では東京大学のみです。参加学生は、世界トップレベルの学生と寝食をともにしながら、英語での課題・濃密なディスカッションに挑戦し、人生を変えるような刺激を受けて帰ってきています。

#### ●協定大学等が主催するプログラム

東京大学の協定校が主催するプログラムです。2018年夏留学分は、カリフォルニア大学 バークレー校・デービス校のプログラムを募集しました。

#### 第2回サマープログラム・ウインタープログラム

原則、参加学生には返済不要の奨学金\*を支給しています。2018年夏・2019年冬留学分は、以下のプログラムの開催を予定しています。

#### 第2回サマープログラム [予定]

- 北京大学・東京大学合同サマープログラム香港大学・東京大学合同サマープログラム
- ●ソウル大学・東京大学合同サマープログラム ●シェフィールド大学サマープログラム
- ●インドネシア大学サマープログラム
- ウインタープログラム [予定]
- ●国立台湾大学・東京大学合同ウインタープログラム
- ●カリフォルニア大学サンディエゴ校ウインタープログラム ●オタゴ大学ウインタープログラム
- ●インドネシア大学ウインタープログラム ●浙江大学ウインタープログラム

#### 全学短期派遣プログラムの長所

①期間が短いので費用が抑えられる

②様々な内容・行き先のプログラムを体験できる

③より長期・専門的な留学の準備になる

#### 全学短期派遣プログラムの種類

ここでは、全学短期派遣プログラム(全ての学部・研究科の学生が参加できる可能性がある 短期留学プログラム:グローバルキャンパス推進本部が実施)の種類を説明します。

区分	特徵	応募方法
第1回サマープログラム	東京大学が加盟する大学 連合や、東京大学の協定校 が実施するプログラム。内容 は語学学習〜専門科目など 様々。	
第2回サマープログラム ウインタープログラム	東京大学が海外の協定校と 連携して、東京大学の学生 のために企画運営、または既 存のプログラムをカスタマイ ズして実施するプログラム。 内容は講義(語学または特 定テーマ)、フィールドワーク、 現地学生との交流、文化体 験など様々。	所属学部・研究科経由で大 学本部に応募
単発プログラム	国内外の大学・機関が実施 し、東京大学の学生向けに 参加枠が設定されたプログラ ム。内容は様々。	●所属学部・研究科経由で 大学本部に応募 または ●大学本部に直接応募

#### その他のプログラム

上記以外にも、費用の全額や一部を主催者が負担する海外研修や学生会議なども毎年数件 実施されます。募集期間が短い場合が多いので、Go GlobalウェブサイトやSNSでこまめに 情報を得るようにしてください。(p33「情報収集方法」のページも併せてご参照ください。)

#### 年間募集サイクル

短期派遣プログラムの多くは、夏季(6月~8月頃)、冬季(1月~3月頃)に実施されます。特に夏季はサマープログラムとして最も多く開催される期間です。(夏季のプログラムは、1~2月頃に募集されるのが一般的ですが、4~6月まで応募可能なものもあります。)募集期間が短く、締切が早いプログラムも多いため、参加可能なプログラムの選択肢を広げるには、TOEFL・IELTSを受験し、募集期間までに必要なスコアを所持しておくことが大切です。

#### 一般的な夏季および冬季の留学プログラム(大学本部を通じて応募するもの)の募集サイクル※以下の2つの募集サイクルは代表的な例で、これに当てはまらないプログラムもあります。

#### 夏季 [予定]

女子[17]												
~12月まで	12月	1月	2月	3月	4.	月	5月	6月	7月	8月	9月	
	募集時期①12~2月頃 (第1回)サマープログラム			○学内選考(書面) (プログラムによっては) 派遣先大学での審査		の参加申	ログラム実施大学へ i請 aまでの手続き		プログラム開講			
				(第2回 ○情報	時期②4~ 回)サマー 収集・学内申 下旬頃学内成	プログラム 請書作成	○学内選考(書面) ○留学開始までの3		プログラム 開講			

#### 冬季 [予定] 開講に向けて調整中のため、下記は暫定的なスケジュールです。

~7月まで	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
			ウインタ 〇情報収	期③9~10月頃 ープログラム 集·学内申請書作成 学内応募締切	○学内選考(書面) ○留学開始までの=			プログラム開	三葉	

#### 全学短期派遣プログラム一覧(グローバルキャンパス推進本部担当プログラム)

各種サマー及びウインタープログラムについて、グローバルキャンパス推進本部では、2018年度は3回に分けて募集予定です。その他、単発で募集するものもあります。

※下記情報は2018年2月現在の予定となり、変更となる場合があります。

	プログラム名	開催地	時期	授業料·宿泊費 [概算]	募集人数 (本学内での 募集人数)	語学レベル	募集開始	応募 締切	備考			
第	IARU Global Summer Program	世界8カ国	6~8月の2~6週間	4~70万円( <del>奨学金6</del> 万円~40万円を支給)	40名程度	高 (TOEFL80~100目安)	12月	2月				
1回サマープログラム	(IARU GSP)	(派遣先大学)	IARUに加盟する世界トップレベル11大学での夏季留学プログラム。 (派遣先大学)オーストラリア国立大学、スイス連邦工科大学チューリッヒ校、シンガポール国立大学、北京大学、カリフォルニア大学バー・ケンブリッジ大学、コペンハーゲン大学、オックスフォード大学、イェール大学、ケープタウン大学									
	協定校等が実施するプログラム	世界各国	5月~9月の数週間	0~100万円(奨学金 8万円~48万円を支給)	未定	プログラムにより異なる	12月	2月				
注1		(2018年派遣	【先大学の例)アメリカ:	カリフォルニア大学(バ-	-クレー校、デ	ービス校)						
	† 北京大学・東京大学合同サマープログラム	中国·日本	未定	未定	12名	英語でディスカッション等 できるレベル			フィールドワーク+講義等			
第2	† 香港大学・東京大学合同サマープログラム	香港	未定	未定	15名	英語でディスカッション等 できるレベル						*
ロサマー	† ソウル大学・東京大学合同サマー プログラム	韓国·日本	未定	未定	15名 (学部学生)	英語でディスカッション等 できるレベル	4月	5月	,			
第2回サマープログラム キュ	† シェフィールド大学 サマープログラム	英国	未定	未定	24名(学部学生)	中(TOEFL65-80目安)			英語による講義+事前・ 事後セミナー+語学研修等			
	† インドネシア大学 サマープログラム	インドネシア	未定	未定	15名程度	中(TOEFL iBT 64~, TOEIC 600~, IELTS 5.5~)			英語による講義+文化 体験等			
	† 国立台湾大学・東京大学合同ウインタープログラム	台湾	未定	未定	未定	英語でディスカッション等 できるレベル			フィールドワーク+講義等			
ウィ	† カリフォルニア大学サンディエゴ 校ウインタープログラム	アメリカ	2月頃	2900米ドル相当 (前回実績)	24名程度 (学部学生)	中(TOEFL65-80目安)			英語による講義+ 事前・事後セミナー等			
ウインタープログラム	† オタゴ大学ウインタープログラム	ニュージーランド	2月下旬頃	未定	20名程度 (学部学生)	何らかの英語能力の証 明書を提出することが望 ましい	10月	12月	語学授業+講義聴講			
グラム 注2	† インドネシア大学ウインタープロ グラム	インドネシア	未定	未定	15名程度	中(TOEFL iBT 64~, TOEIC 600~, IELTS 5.5~)			英語による講義+ 文化体験等			
	† 浙江大学ウインタープログラム	中国	未定	未定	15名程度	中国語学習歴は問わない			中国語講座や文化体験、 学生交流			

注1 2018年夏留学分(募集終了)の参考情報です。 注2 予定であり、変更となる場合があります。

海外大学や国内外の団体等のプログラムについて、プログラムごとに単発で参加希望学生を募集します。

単発プログラム(一例)								
ストックホルム国際青年科学セミナー	スウェーデン	12月の1週間程度	国際科学技術財団 が負担	2名	英語力を駆使して十分な コミュニケーションがとれ ること	5月頃	8月	ノーベル賞授賞式への 出席のほか、世界の学生 と交流
パリ政治学院(Sciences Po) European Studies Programme	フランス	2~3月の4週間程度	4,000ユーロ程度	7名程度	高(TOEFL87または IELTS 6.0必須)	10月頃	11月頃	使用言語は英語。日本の学生向けプログラム

- ※各項目は、あくまで目安として簡潔に記載しています。募集開始、締切、開催内容等は毎年異なりますので最新情報・詳細はウェブサイト等で確認してください。
- ※費用については、原則として航空賃・生活費等を除いた、授業料と宿泊費の目安を掲載しています。
- ※†印のものは2018年2月現在、開催に向けて調整中のため、各項目は暫定的な情報です。

<sup>\*</sup>奨学金の受給には、一定の条件を満たす必要があります。



氏名:菊池 翔さん

所属学部·研究科·学年(留学開始時):薬学部4年

参加プログラム: IARU Global Summer Program (コペンハーゲン大学)

期間:2017年6月~2017年7月(1ヶ月間)

北欧に留学するなら夏がおすすめ! 高緯度に位置するので夏は非常に 日が長く、私が渡航した6月末は22 時ころまで日が出ていました。夕方 に授業が終わってからでも十分に 街を散策できますよ!

#### 福祉国家デンマークで「老いる」とは何か考えた1ヶ月

#### ①留学を決めたきっかけ

薬学部に進学して2年目が経ち、専門分野の学習が進んだこのタイミングで健康や医療について幅広い視点から考える機会を作りたいと考え、このプログラムに参加しました。

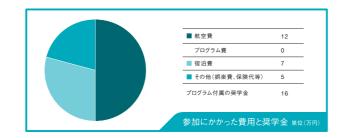
#### ②プログラムの内容

私が参加したコースのタイトルはInterdisciplinary Aspects of Healthy Agingで、「老いる」ことについて生物学や社会学など様々な視点から考えるという内容でした。

#### ③プログラムを勧める点

このプログラムでは講義形式の授業は最初の1週間に行われるのみで、フィールドワークや研究計画の立案などに多くの時間が割り当てられていることが大きな魅力だと感じました。

IARU Global Summer Programは世界各国の大学から数人ずつが参加する形で行われているため、コース参加者は少数でありながら非常に多様性に富んだ環境となっていました。参加者が少ないためすぐに打ち解けあい、授業では真剣に議論したり週末には一緒に出かけたりと濃密な時間を過ごすことができました。このプログラムでは2人1組のペアで研究計画を立案して提出・発表することが最終課題となっており、ハードルは高いですが大きな学びを得ることができました。私の場合はアメリカでソーシャルワーカーのコースに在籍する学生とペアになり、研究計画を考える中でお互いの国の医療制度について深く学ぶことができました。講義だけでなく、ディスカッションや発表、フィールドワークなど様々な学びが凝縮されていることはこのプログラムの大きな魅力だと思います。



#### 学生体験記短期プログラム



氏名:鈴木 夢大さん

所属学部·研究科·学年(留学開始時):文学部4年

参加プログラム: カリフォルニア大学バークレー校(Summer Session A)

期間:2017年5月~2017年6月(1.5ヶ月間)

寮の食堂では、知らない学生に声 をかけて交友関係を広げようとして いましたが、無意識のうちに中国人 や韓国人に偏ってしまい、自分が アジア人であることを意識した瞬間 が印象的でした。

#### 学業だけではない留学の意義~生活の場としてのバークレー~

#### ①留学を決めたきっかけ

アメリカの医療政策に関心があったことに加え、海外で働くことを見据え海外経験や語学力の向上を図りたいと考えたためです。短期のプログラムであり、日本での活動に支障が生じないことも参加の決め手となりました。

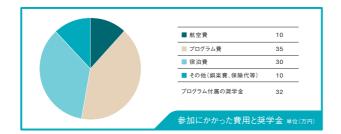
#### ②プログラムの内容

夏にわたって5つのセッションに分かれており、それぞれ多様な分野の講義や語学の授業が開講されています。自らの関心にあわせて参加時期や授業を決めることができるため、自由度の高いプログラムとなっています。

#### ③プログラムを勧める点

自由度が高く自らの目的にあわせて多様な形で留学をデザインできます。多くの留学生が滞在する寮では交流の場が多く設けられているなど、学業以外の面でも充実した留学生活を送ることのできるプログラムです。

学業面での学びだけでなく、人との出会いや関わり、異文化での生活経験から得られることも、留学の価値を決める重要な要素の一つです。バークレーへの留学は、ハイレベルな教育環境に身を置くだけでなく、多くの留学生と寝食を共にし交流を図ることができる環境が整っているなど、留学を単に学業の場として捉えるだけでなく、人としての幅を広げる点でも非常に意義がありました。6週間という限られた時間の中で、日々の講義と課題に追われつつも、食事や勉強の息抜きの合間に多くの留学生と語り、刺激を与えあった経験こそが、留学生活を本当の意味で価値のあるものにしてくれたと感じています。私は最終学年で留学しましたが、もっと早く留学していればという後悔が残っています。得られるものは人によって違いますが、たとえ短期の留学であっても、バークレーでの濃密な生活を通じて得られる"学び"は、その後の人生に生きる経験になると思います。





氏名:原 脩一郎さん

所属学部・研究科・学年(留学開始時): 医学部3年 参加プログラム:香港大学・東京大学合同サマープログラム

期間:2017年8月(2週間)

プログラムに参加していた東大生 の皆さんも、優秀であるのはもちろん、個性的で面白い人が多かった ように思います。そういう点も含め excitingなプログラムでした。

#### 至れり尽くせりの香港

#### ①留学を決めたきっかけ

香港は、驚異的な成長を遂げ、現在はロンドン、NYに並ぶ世界三大金融センターとして大きな存在感を示しています。僕はそんな香港の発展に興味を抱き、詳しく学ぶためにこのプログラムに参加することにしました。

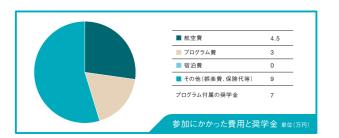
#### ②プログラムの内容

香港大学・東京大学の計25人が参加しました。内容的には、「香港で活躍する日本人・企業」というテーマでの講義と、5人1班に分かれて班ごとにテーマを決めフィールドワークをして成果を発表する、という2本立てでした。

#### ③プログラムを勧める点

期間は2週間だけですが、スケジュールが非常に充実しており、香港のいろいろな側面を覗くことができます。また、授業は英語で行われるので、英語力のupも期待できます。ですが英語に自信がない方でも安心です。(後述)

今回のプログラムは非常にexcitingなものでした。香港政府や香港の企業の最前線で活躍していらっしゃる方々から興味深いお話をお聞きすることができて、とても楽しかったです。中でも、香港国際空港の滑走路・航空機を、JALの方々のサポートの下見学させていただけたことが印象的でした。また、充実したプログラムを作成して下さった両大学の教授陣、旅費・寮生活などでのサポートや、幅広い方と交流できる食事会などの場のセッティングなどして下さった両大学の関係者の皆様にもお礼を申し上げたいと思います。ありがとうございました。また、講義・企業訪問以外では香港大学の学生さんが様々な観光地や地元の美味しい飲食店に連れて行ってくれました。しかも、彼らは母語・英語・北京語に加え日本語も堪能で、大変刺激を受けました。このような素晴らしいプログラムに参加させていただけたことに改めて感謝の意を表したいと思います。



#### 学生体験記短期プログラム



氏名:和地 祐里奈さん

所属学部・研究科・学年(留学開始時):教養学部2年 参加プログラム: インドネシア大学サマープログラム UI-CREATES

期間:2017年8月(2週間)

インドネシア大学のキャンパスには 度々猫を見かけました。宗教上の 理由で犬より猫のほうが多いそうな のですが、人懐っこくてかわいい猫 ばかりなので、猫好きにはたまりま

#### インドネシアでアジアを感じる

#### ①留学を決めたきっかけ

近年経済発展が著しく日本と政治・外交的に密接な関係にある東南アジアに行ってみたいという思いがありました。さらにこのプログラムで実際に現地の大学の講義を受けることができるのは大変魅力的でした。

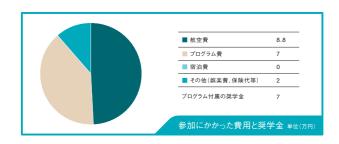
#### ②プログラムの内容

最初の1週間は主に午前中にインドネシアの外交に関する講義を受けた後、午後は文化体験をしました。2週目は国際機関や政府機関の見学をして授業の理解を深め、最終日はグループプレゼンテーションをしました。

#### ③プログラムを勧める点

講義だけでなく、体験や見学の機会が多いことです。また、プログラム終了後もつながるような、国境を越えたかけがえのない仲間たちと出会えた点です。

このプログラムにはインドネシア大学と東京大学の学生をはじめ、中国やオーストラリア、韓国の大学の参加者もいました。どの国も相互に深い結びつきのある国ばかりで、日本の外交政策を享受する側の国の意見を聞くことを通じて、日本を客観的に見直す良いきっかけになりました。私にとってプログラムの中での一番の思い出は現地の学生や他の国の学生との交流です。日常会話の中でたくさんの新しい発見があり、教科書やメディアでは知ることのない貴重な「生」の意見が刺激的でとても楽しい時間でした。そしてプログラムを通じてインドネシアという国について今まで持っていた知識以上の学びがありました。実際に現地に赴くことで、インドネシアの食事や現地の人の温かさ、さらには今の日本では感じられないような経済成長の熱気を感じられました。かけがえのない仲間たちと出会い、ともに刺激を与えつつ大きな学びを得ることのできた、充実した2週間でした。



# 2. 留学・国際交流プログラム (その他のプログラム)

### 1) GLP-GEIL東京大学グローバルリーダー育成プログラム

GLP-GEfIL (Global Education for Innovation and Leadership) は、国際社会における指導的人材の育成を目的とした学部学生対象の特別教育プログラムです。GLP-GEfILでは、プログラムの一環として、世界トップレベルの大学の厳選された海外プログラム等に、修学中に2回参加する機会を設けています。また、海外派遣にあたっては、協賛企業の寄付による奨学金(地域、期間等に応じて最高100万円まで)を支給します。

GLP-GEfILは、語学力や意欲等により選抜された学生が履修できます。学部2年生(PEAK学生は1年生)を対象に、年度に一回、選抜を行います。詳細はウェブサイトをご覧ください。

[GLP-GEfILウェブサイト] http://www.glp.u-tokyo.ac.jp

[facebook] https://www.facebook.com/Utokyo-Glp-Gefil-東京大学グローバルリーダー育 成プログラム-589069901189419/



#### GLP-GEfIL海外プログラム派遣先例(2018年度)

プログラム名	開催地	期間
LSE-PKU Summer School in Beijing	中国	8月 2週間
Stanford Summer International Honors Program (SSIHP)	アメリカ	6月~8月 8週間
Harvard Summer School	アメリカ	6月~8月 7週間
Yale Summer School	アメリカ	5月~8月 5週間
University of British Columbia, Vancouver Summer School	カナダ	6月~8月 4週間
Pembroke-King's Summer Programme	イギリス	7月~8月 6週間
LSE Summer School	イギリス	6月~8月 3週間
Oxford: International Politics Summer School	イギリス	7月~8月 2週間
Geneva Graduate Institute Summer Programme	スイス	6月~8月 2週間
Munich Summer Program 'Management Practices and Corporate Communications in a Global Environment'	ドイツ	8月 3週間
RWTH Aachen University Engineering Summer School	ドイツ	6月~8月 4週間
Helsinki University Summer School	フィンランド	8月 2週間
Summer School in Global Health Challenges, Copenhagen	デンマーク	8月 2週間
HEC Paris Summer School	フランス	6月~7月 2週間
Grotius Centre for International Legal Studies (Leiden University)	オランダ	7月 2週間
LSE-University of Cape Town	南アフリカ	6月~7月 2週間

※上記はGEfiL層修生を対象として2017年度に提供した海外プログラムの一部です。詳細はウェブサイトをご覧ください。 http://www.glp.u-tokvo.ac.ip/gefil/abroad/

#### GLP-GEfILの概要

- ●GEfIL実践研究: 学生自身が関心を持つ地球規模の問題を対象に、創造的・学術的な研究プロジェクトを設計・実施していくことを目標とします。
- ②GEfIL海外プログラム: 3年次及び4年次に、世界トップレベルの大学の厳選された海外プログラムやインターンシップ、 海外でのボランティア活動に参加します。
- ③グローバルリーダー講義:世界の第一線で活躍しているビジネスリーダー、起業家、国際的専門家を迎えて行う講義です。
- ◆GEfIL共通授業科目: 高度なグローバル教養や、実践的な外国語能力の育成、アカデミック・スキルの獲得等を目指す 英語で行われる授業科目群です。



#### 協替企業

東京大学グローバルリーダー育成プログラムの海外派遣の奨学金は、趣旨にご賛同いただいた下記の企業様の支援によって実現しています。 株式会社IHI、旭化成株式会社、アステラス製薬株式会社、エーザイ株式会社、ABB株式会社、大塚製薬株式会社、JFEホールディングス株式会社、塩野義製薬株式会社、住友商事株式会社、住友生命保険相互会社、住友不動産株式会社、武田薬品工業株式会社、東海旅客鉄道株式会社、東京海上日動火災保険株式会社、東レ株式会社、日本調剤株式会社、東日本旅客鉄道株式会社、富士電機株式会社、株式会社三井住友銀行、三井不動産株式会社、株式会社三菱ケミカルホールディングス、三菱重工業株式会社、三菱電概株式会社、株式会社IJILL(2018年2月現在)

本プログラムに関するお問合せはGLP推進室までお願いします。e-mail: glp-gefil.adm@gs.mail.u-tokyo.ac.jp

### 2)教養学部前期課程 主題科目「国際研修」

主題科目「国際研修」は、前期課程の学生が、異なる言語・文化の環境に触れ、国際交流の現場を体験し、グローバルな視野を養うことを目標とする授業です。授業内容としては、(1)海外教育機関との共同プログラム、(2)現地の学生との合同見学・合同実習等を含む短期の海外研修、(3)海外の学生との合同国内研修、といった様々な活動があります。そのような機会によって得られる成果が、主題科目の単位として認定されます。

「国際研修」は、 $6\sim8$ 月(9月上旬を含む)、1月末~3月に実施されます(海外に渡航する前に、通常のセメスター/ターム中に事前講義を実施する場合もあります)。

「国際研修」の受講にあたっては、海外渡航経験の有無は問いません。「国際研修」はむしろ、学生にとってのはじめての海外経験を、後押しする科目です。進んで自分の視野を開こうとする、学生の積極的な参加姿勢がのぞまれます。

なお、授業によっては、参加者の選抜を行ったり、ある水準以上の語学力を求めたりする場合があります。学生が負担する費用については、授業によって異なるので、詳細はそれぞれの授業のシラバスを参照し、ガイダンスで説明を受けて下さい。ガイダンスはA/Sセメスター開始直後に実施されますので、Global Komaba(http://www.globalkomaba.c.u-tokyo.ac.jp)のウェブサイトに掲載されるスケジュールをご確認の上、是非ご参加ください。

#### 2018年度6~9月は以下の授業の実施が予定されています。

講義題目	研修地
UTokyo Summer Internship Program in Kashiwa	日本
Explore Japan with Finnish and Hungarian students	日本
ソウル大学校韓国語研修サマープログラム	韓国
Promoting learning-The Finnish way	フィンランド
EUの政治	ドイツ
ドイツ語サマースクール	ドイツ
TLPフランス語特別研修	フランス
国連システム研究	スイス
イタリアのローマ時代の遺跡を訪ねる	イタリア

※上記の予定は変更される場合があります。

このほかにAセメスターには、マレーシア、中国、オーストラリアでの授業も開講されていますので、シラバス、またはGlobal Komabaのウェブサイトで確認して下さい。

※本科目についての問い合わせ先:教養学部 国際交流センター グローバリゼーションオフィス 21KOMCEE West B1F (go@global.c.u-tokyo.ac.jp 国際研修担当・櫻井)

#### オーストラリアの研修に参加した 学生(文I・1年)の声

外国に行ってただ英語を学ぶだけでなく、 講義やフィールドトリップを通して英語で 学べる点に興味を持ち、参加を決めまし た。コースの内容は美術から環境問題と 多岐にわたり、大学で学んだことのない学 問分野に触れることができました。また、 オーストラリアの学生と一日のほぼすべて の時間をともに過ごすことによって、考え 方や習慣、文化が違う学生とどのように良 い関係を保つかということを自分なりに考 え実行することができたと思います。この コースで何を達成したいかを意識して参加 すれば、必ず自分のためになる経験を積む ことができると感じました。困ったことや自 分で考えてもわからないことを相談できる TA(ティーチングアシスタント)さんや優し い先生方のおかげで、有意義な数週間を 過ごすことができました。





プログラム参加者の声



### 3)本部学生支援課

### 体験活動プログラム・海外企業体験活動

#### ①体験活動プログラム

体験活動プログラムは、学部学生の皆さんが今までの生活と異なる文化・価値観に触れ、新しい考え方を身に付 けることを目指したプログラムです。奨励金の支給等による経済的な支援があり、皆さん自身もプログラムの企画・実 施に携わることができます。

これまで、ニューヨークで働くOB・OG訪問など国際・就労体験、院内学級における学習支援などボランティア、北 海道の農場・牧場作業など自然体験、学内研究室での研究体験など、正課授業では経験することが難しいさまざま な機会を提供しています。海外で実施する国際交流体験活動プログラムの多くは、夏季・春季休暇期間を中心に1 週間~1ヶ月程度活動するものです。自由な時間を利用して、積極的に参加してください。

今年度実施するプログラムについては、体験活動プログラムのウェブサイトをご参照ください。 URL: http://www.u-tokyo.ac.jp/stu01/h19 j.html

#### 国際交流 体験活動プログラム一覧(平成29年度版)

東京大学	体験活動	0
*************************************	[+ 3/ /H =//	_ ~

	四八十十十	n± #9	#0 BB
プログラム名(通称)	開催地	時期	期間
中国訪問 + キャンパスツアーと学生交流	中国(北京・上海)	3月	10日
上海および上海近郊の地方都市を中心とした国際交流体験活動	中国(上海)	3月	11日
大学・企業・文化体験 in 韓国 一韓国を知る、韓国から日本を見る一	韓国(ソウル)	8月	9日
シンガポールでビジネスを学んでみよう	シンガポール	9月	9日
医学と平和	カンボジア(プノンペン)	8月	7日
カンボジア 教育系グローカルインターンシッププログラム	カンボジア(プノンペン)	8月	8日
新興国インドでの体験活動 一インド赤門会との交流・IIT-K日本語授業サポート—	インド (ニューデリー)	3月	7日
Healthy Humpbacks(ザトウクジラの健康調査)	オーストラリア	8月	4日
TOPS (Tokyo Oxford Programme of Summer)	イギリス (オクスフォード)	8-9月	28日
英国ロンドン、海外で働くとは	イギリス (ロンドン)	2-3月	5日
VE_italia·Veneto Experience	イタリア (ヴェネチア)	3月	15日
フランスEcole Polytechniqueにおける研修(理系)	フランス (パリ)	2月	14日
スウェーデン王立工科大学(KTH)での国際交流活動体験 日本語授業サポートと企業訪問	スウェーデン(ストックホルム)	9月	8日
革命100周年・国交回復60年の隣国ロシアの今	ロシア(モスクワ・サンクトペテルブルグ・イルクーツク)	8月	12日
アラブ首長国連邦の「いま」:沸騰都市ドバイ,未来都市マスダール,石油都市アブダビ	UAE(ドバイ・マスダール・アブダビ)	9月	10日
ハーバード大学医学部研究室の訪問・デスカッション	アメリカ (ボストン)	8月	10日
アメリカで仕事をすることの素晴らしさとチャレンジ	アメリカ(シカゴ・ワシントンDC)	8月	7日
国連(NY)での会議に学生ボランティアとして参加	アメリカ (ニューヨーク)	1-2月	5日
コロンビア大学所属東大卒業生の教授、研究者、学生を訪問・ディスカッション	アメリカ (ニューヨーク)	9月	5日
ニューイングランド有機農場 での Community Supported Agriculture 体験 (米国)	アメリカ (コネチカット)	8-9月	14日
オーガニック農場 での Sustainable agriculture 体験(米国)	アメリカ (ニュージャージー)	9月	14日
世界の情報発信の中心地、ニューヨークの脈動を体感してみよう	アメリカ (ニューヨーク)	9月	8日
日本語教室でのボランティア	日本 (本郷キャンパス)	10月-翌年1月	4ヶ月
Documentary research for the French Embassy	日本(東京)	9-11月	20日

※上記プログラムは平成29年度のものです。平成30年度は実施しないプログラム、上記に記載のないプログラムもありますので、必ず学内説明会、及びウェブサイトで最新情報を確認してくださ い、各項目はあくまで目安とし、簡潔に掲載しています。※体験活動プログラムは国際交流体験だけではなく、ボランティア、就労体験、農林水産業・自然体験、地域体験、フィールドワーク、研究 室体験など、様々な活動を含みます。上記表は国際交流体験のみの抜粋です。

①韓国ソウル東大会の方々と ②アメリカ ニュージャージ オーガニック農場 ③アメリカ コネチカット 有機農場 ④ロシア ペテルブルグ大学学生と

#### 体験活動プログラム参加者の声

8月に2週間の日程で、コネチカット州リッジフィー ルドの農場にて有機農業体験をさせていただきま した。小規模な農場ながら、様々な野菜や果物、 果ては羊や豚まで放し飼いにされており、毎日が新 しい体験の連続でした。その農場でとれた完全有 機栽培の収穫物は基本的には市場に流涌せず、 地域のサポート会員と農場内の売店でのみ販売 されています。アメリカといえば見渡す限りのトウ モロコシ畑に巨大な機械と大量の農薬、というイ メージが強かっただけに、信念を持って有機栽培 に取り組んでいる方たちの姿に感銘を受けました。



ニューイングランド有機農場での Community Supported Agriculture体験 経済学部 3年 長谷川健人さん(写真右から2番目) 農場でのメロンの収穫後

#### ②東大牛海外体験プロジェクト(海外企業体験活動)

「海外企業体験活動」は、経済界などで活躍する卒業生が、「留学する環境に恵まれた一部の学生だけでなく、より 多くの学生に、積極的に海外体験をしてほしい」という理念により、自発的に寄附募集活動を進めている「東大生海 外体験プロジェクト」の支援を受けた活動の1つです。

学部前期・後期課程の学生を対象とし、海外のオフィスや、海外で活躍する日本人の業務を実際に間近で見ること で、人生のグローバルキャリア形成を考えるきっかけとなるプログラムを実施しています。

活動場所はアメリカ、ヨーロッパ、アジア。世界各国にオフィスを構える日系企業で、多様な業務(マーケティング、広 報、建築設計、法務等)の体験を通して自身の専門知識やスキルを試す機会もあります。この夏、海外の企業に飛 び込んで視野を広げてみませんか。今年度実施するプログラムの詳細については、海外企業体験活動のウェブサイ トをご参照ください。 URL: http://www.u-tokyo.ac.jp/stu01/h001 j.html

#### 海外企業体験プログラム一覧(平成29年度版)

American Standard Brands (アメリカ) GROHE GROUP(ドイツ) Permasteelisa (イタリア) Rakuten USA(アメリカ)

#### 応募締切·活動実施時期

応募締切:5月中旬(4月中旬からウェブサイトトで募集開始) 活動時期:8月から9月の1-2週間程度

#### 海外企業体験プログラムへの本学の支援

本プログラムは、卒業生による寄附募集活動「東大生海外体験プロジェクト」によ る寄附金を原資に、活動に関する経済的な支援が行われます。 往復渡航費、現地宿泊費、現地移動費など一人あたり上限50万円 ※航空券、宿泊施設は大学で指定します。

#### 協力

株式会社LIXII、楽天株式会社 東京大学基金「東大生海外体験プロジェクト」

#### 毎外企業体験プログラム参加者の声

NYから1時間ほど離れた場所にあるAmerican Standard社のアメリカ 木社で 2週間インターンをさせていただきました。日本でいう広報部に配属さ れ、どのような広報業務をされているのかを実際に体験させていただく他、イン ターンプロジェクトとして内部コミュニケーションについて取り組み、最終日には 部署の方達にプレゼンもさせていただきました。自分の力が通じるのかを海外 ビジネスの現場に一人飛び込んで試すことができたので、他のプログラムと比 べれば短期間でも非常に内容の濃い2週間だったと思います。

主に人事部に配属されましたが、最初 の1週間はR&Dやマーケティング、サブ ライチェーンといった各部署で業務にあ たりました。2週目は人事部の人材育成 チームで、トレーニングリストを作成した り、社内英語研修についてのリサーチを 行いました。また、2週間を通して与えら れた課題である、GROHEとLIXILの人 材交流に関する提案準備のため、各業 務の合間に社員の方々にヒアリングを行 い、最終日にプレゼンを行いました。とて も密度の濃い、充実した2週間を過ごす 滞在期間:2017年8月-9月(2週間) ことができました。



後藤礼寛さん GROHE GROUP 渡航先:ドイツ お世話になった方々と

う建築外装設計の会社で、設計業務の インターンをさせていただきました。世界 中で高層ビルのガラス外装の設計・施工 を多く手がけるPermasteelisaには、イ タリアをはじめ多くの国からエンジニアや デザイナーが集まっています。学校教育 では扱わないような最先端技術に直に 触れながら、国際色豊かな環境の中で責 任を持って働くことができた経験は、自身 の将来を考える上で非常に貴重なものと なりました。

イタリアにあるPermasteelisaとい



Permasteelisa 渡航先:イタリア 滞在期間:2017年9月(2调間) 同じ部署の方々と本社前にて



教養学部前期課程 2年 西澤紀保さん American Standard Brands 渡航先:アメリカ 滞在期間:2017年7月-8月 (2週間)

Rakuten USAでは法務部に所属し、社内ミーティングに参加したりレク チャーを受けたりすることで、法律がどのように国際的なビジネスの中で機能し ているかについて学びました。このプログラムに参加するまで、私は将来海外 で働きたいとは思いつつも海外で働くということが実際にどのようなものなのか 理解できていませんでした。しかし参加して色々なお話を伺う中で漠然としたイ メージが具体化してきたように思います。海外で働くことに少しでも興味がある 学生にはぴったりのプログラムだと思います。

#### 教養学部前期課程 2年 新本寛人さん

10日間のRakuten USAでの企業体験は、未知に溢れたチャレンジングな ものでした。ファシリティーマネジメントの改善策の提示から、多様性を活かした ビジネスの提言まで、様々な課題解決を経験させていただきました。正解がな い中、物事の本質を見抜き、より良い解決策を模索していく、そんな社会の複 雑さと面白さを、肌身で感じました。また、様々なバックグラウンドを持った社員 の方々との交流は、自分の将来像を具体的に考える契機になりました。挑戦・ 成長し続けることの醍醐味を味わえる、素晴らしいプログラムです!

> 教養学部前期課程 2年 高畑 舞さん



Rakuten USA 渡航先:アメリカ 滞在期間:2017年8月(10日間) オフィスで社員の方々と

# 4) 各学部・研究科の取り組み

### ①学部·研究科間交換留学 協定校一覧

国·地域	協定校	対象	
法学政治学研究科·法学部			
中国	北京大学法学院	院	
中国	北京大学国際関係学院	学部/院	
韓国	ソウル大学校法科大学院	院	
医学系研究科·医	学部		
台湾	国立台湾大学医学部	学部	
台湾	台北医学大学医学部	学部	
シンガポール	シンガポール国立大学医学部	学部	
アメリカ	ジョンズホプキンス大学医学部	学部/院	
アメリカ	ペンシルバニア大学医学部	学部/院	
アメリカ	ミシガン大学医学部	学部/院	
アメリカ	シカゴ大学医学部	学部/院	
アメリカ	コーネル大学医学部	院	
ドイツ	ミュンヘン・ルートヴィヒ・マクシミリアン大学医学部	学部	
スウェーデン	イエテボリ大学	学部/院	
工学系研究科·工	学部		
中国	北京航空航天大学電子情報工程学院航空科学与 工程学院 ※新領域と担当	学部/院	
中国	浙江大学	学部/院	
中国	大連理工大学	学部/院	
中国	同済大学院 ※新領域と担当	学部/院	
中国	北京交通大学	学部/院	
中国	福州大学化学学院	学部/院	
香港	香港理工大学建設・環境学部	学部/院	
インド	インド工科大学マドラス校	学部/院	
インド	インド工科大学ハイデラバード校	学部/院	
インド	インド工科大学カラグプール校	学部/院	
インド	インド工科大学カンプール校	学部/院	
インド	インドエ科大学デリー校	学部/院	
インド	インド経営大学院バンガロール校	院	
インドネシア	インドネシア大学公衆衛生学部[UEHAS]	学部/院	
インドネシア	バンドン工科大学[UEHAS]	学部/院	
韓国	ソウル大学校工科大学	学部/院	
シンガポール・ 中国	シンガポール国立大学設計・環境学部 同済大学 建築・都市計画学院 清華大学 建築学院 [AMU] ※新領域と担当	院(M)	
タイ	アジア工科大学院	院	
タイ	チュラロンコン大学工学部[UEHAS]	学部/院	
タイ	タマサート大学国際工学部(SIIT)	学部/院	
ベトナム	ベトナム国家大学ハノイ校理科大学	学部/院	
アラブ首長国連邦	マスダール科学技術大学	学部/院	

	※ (M) は修士のみ、	(D) は博士のみ対象
国·地域	協定校	対象
トルコ	中東工科大学工学部	学部/院
トルコ	イスタンブル工科大学理工学部	学部/院
アメリカ	マサチューセッツエ科大学 ※対象学科限定	学部
アメリカ	カリフォルニア大学 (全校)	学部/院
オーストラリア	南オーストラリア大学情報科学技術工学環境学部	院
オーストラリア	ロイヤルメルボルン工科大学	学部/院
オーストラリア	クイーンズランド工科大学理工学部	学部/院
ニュージーランド	カンタベリー大学工学部	学部/院
オーストリア	ウィーン工科大学	院
オーストリア	グラーツ工科大学	学部/院
デンマーク	デンマーク工科大学	学部/院
フィンランド	アールト大学(旧ヘルシンキ工科大学)	学部/院
フランス	ビエール・エ・マリー・キューリー大学(パリ第6大学) 工学部	学部/院
フランス	セントラルスープレック(旧エコール・セントラル・パリ)	学部/院
フランス	エコールアトランティック(旧エコール・デ・ミン・ド・ナント)	学部/院
フランス	フランス国立応用科学院リヨン校(INSA Lyon)	学部/院
フランス	エコール・ミン・パリ	学部/院
フランス	エコール・デ・ポン・パリテク	学部/院
フランス	航空宇宙高等学院(ISAE)	学部/院
フランス	国立民間航空大学校(ENAC)	学部/院
フランス	エコール・セントラル・リヨン	学部/院
フランス	トロワエ科大学	学部/院
ドイツ	シュツットガルト大学	学部/院
ドイツ	カールスルーエ大学	学部/院
ドイツ	ミュンヘン工科大学	学部/院
ドイツ	ダルムシュタット工科大学	学部/院
ドイツ	フリードリヒ・アレクサンダー大学エアランゲン・ニュル ンベルグ工学部	学部/院
ドイツ	アーヘンエ科大学建築学部・土木学部・機械工学部・ マテリアル工学部・電気工学情報学部 ※理学系と 担当	学部/院
イタリア	トリノエ科大学 ※情報理工と担当	学部/院
イタリア	ミラノエ科大学	学部/院
イタリア	聖アンナ大学院ロボティックス研究所 [GSDM]	学部/院
オランダ	デルフトエ科大学機械・海洋・マテリアル工学部	学部/院
オランダ	トエンテ大学	学部/院
ノルウェー	ノルウェー工科自然科学大学	学部/院
ロシア	サンクトペテルブルグ国立大学マネージメントスクール	学部/院
スペイン	マドリッド工科大学建築学部	学部/院
スペイン	バレンシア工科大学	学部/院
スウェーデン	チャルマーズ工科大学	学部/院

国·地域	協定校	対象
スウェーデン	ルレオー工科大学	院(M)
スウェーデン	リンシェピン大学理工学部 ※情報理工と担当	学部/院
スウェーデン	スウェーデン王立工科大学 [GME]	学部/院
スイス	スイス連邦工科大学ロ-ザンヌ(EPFL)	学部/院
スイス	チューリッヒ大学理学部・経済学部 ※情報理工と担当	院
EU	"ミュンヘン工科大学、パリ・ラヴィレット建築大学、サン リュック大学、リスボン工科大学、シントルーカス大学" [AUSMIP] ※新領域と担当	学部/院(M)
	人文社会系研究科·文学部	
中国	山東大学儒学高等研究院·韓国研究中心	学部/院
中国	北京大学歴史学系 ※総合文化と担当	院
香港	香港中文大学文学院	学部/院
インド	デリー大学	院
韓国	ソウル大学校人文大学	院
韓国	金山大学校人文大学	院
## EB イラン	テヘラン大学	院
フランス	エコール・ノルマル・スューペリュール	院
フランス	エコール・ノルマル・スューペリュール(リヨン校)	院
ドイツ	ベルリン自由大学(歴史文化学部、他) ※総合文化と担当	学部/院
イタリア		院
1307	理学系研究科・理学部	NOTE:
アメリカ	カリフォルニア大学	学部
韓国	ソウル大学校自然科学大学	院
スウェーデン	ルレオー工科大学 Department of Computer Science, Electrical and Space Engineering	
チェコ	南ボヘミア大学水産・水系保護研究院	学部/院
ドイツ	アーヘン工科大学 ※工学系と担当	学部/院
ロシア	サンクトペテルブルグ国立大学	学部/院
ロシア	ロモノーソフ記念モスクワ国立大学	学部/院
	農学生命科学研究科・農学部	
台湾	国立台湾海洋大学	学部/院
台湾	国立中興大学獣医学院	学部/院
台湾	台北医学大学公共衛生栄養学部	学部/院
台湾	国立屏東大学獣医学院	学部/院
台湾	台湾大学生物資源農学院	学部/院
中国	四川農業大学	学部/院
中国	中国農業大学	学部/院
中国	東北林業大学	院
中国	南京農業大学	学部/院
中国	南京林業大学	院
中国	北京林業大学	学部/院
<u> </u>	西南大学	学部/院
· — 中国	中国科学院大学資源環境学院	学部/院
中国	東北師範大学地理科学学院	学部/院
	海南大学熱帯農林学院	学部/院
中国		
中国中国	浙江農林大学	学部/院

国·地域	協定校	対象
インド	タミルナードゥ農業大学	学部/院
インドネシア	ボゴール農科大学	学部/院
インドネシア	ムラワルマン大学	学部/院
インドネシア	ランプン大学農学部	学部/院
韓国	ソウル大学校農業生命科学大学	学部/院
韓国	ソウル大学校獣医学部	学部/院
韓国	釜慶大学校水産科学大学	学部/院
韓国	釜慶大学校環境海洋大学	学部/院
韓国	建国大学校獣医学部	学部/院
モンゴル	モンゴル国立農業大学	学部/院
スリランカ	ルフナ大学	学部/院
タイ	カセサート大学獣医学部・農学部・林学部	学部/院
タイ	コンケン大学農学部	学部/院
タイ	チェンマイ大学	学部/院
ベトナム	ベトナム国立農業大学	学部/院
ベトナム	カントー大学	学部/院
フィンランド	アールト大学(旧:ヘルシンキ工科大学)	院
フランス	アグロパリテック(旧:パリーグリニョン国立農学院)	院
ドイツ	カールスルーエ工科大学	学部/院
ポーランド	クラクフ農科大学	学部/院
ポーランド	ワーミヤ・マズリー大学	学部/院
スウェーデン	スウェーデン農科大学	学部/院
英国	エジンバラ大学獣医校	学部/院
マレーシア	マレーシア・サバ大学	学部/院
	経済学研究科·経済学部	
フランス	HEC経営学院(HEC Paris)	学部/院
ドイツ	フランクフルト大学	学部/院
スウェーデン	ストックホルムスクール・オブ・エコノミクス	学部/院
英国	ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス・アンド・ポリティカ ル・サイエンス	院(D)
	総合文化研究科·教養学部	
台湾	国立政治大学歴史学系	院
台湾	国立政治大学台湾史研究科	院
台湾	国立交通大学社会文化研究所	院
中国	華東師範大学思勉人文高等研究院	院
中国	北京大学歴史学系 ※人文社会系と担当	院
中国	北京大学元培学院 (PKU-UTokyo キャンパスア ジアプロジェクト)	学部
韓国	ソウル大学校自由専攻学部(SNU-UTokyoキャンパ スアジアプロジェクト)	学部
韓国	韓国外国語大学校東洋語大学・日本語大学	学部/院
シンガポール	シンガポール国立大学理学部、人文社会科学部	学部
ベトナム	ベトナム国家大学ハノイ校附属人文社会科学大学	学部/院
ベトナム	ベトナム国家大学ハノイ校附属日越大学	院
1174		院
	ニューヨーク大学大学院総合文化研究科	R/L
	ニューヨーク大学大学院総合文化研究科 パリ第7・ディドロ大学	学部/院
アメリカ		

次ページへ続く

国・地域	協定校	対象
ドイツ	マルティン・ルター・ハレ・ヴィッテンベルク大学第一哲学部	学部/院
ドイツ	ベルリン自由大学(歴史文化学部、他) ※人文社会系と担当	学部/院
ドイツ	ユストゥス・リービッヒ大学ギーセン社会科学・文化学 研究科、メディア論研究センター	学部/院
ドイツ	ハンリッヒ・ハイネ大学デュッセルドルフ人文学部	学部/院
スペイン	セビリア大学哲学部	学部/院
ロシア	ロシア国立人文大学	学部/院
	教育学研究科·教育学部	
スウェーデン	ストックホルム大学教育学部	学部/院
	薬学系研究科・薬学部	
中国	瀋陽薬科大学	院
アメリカ	テキサス大学M.D.アンダーソンがんセンター	院
ドイツ	ボン大学リサーチトレーニンググループ1873	院
スウェーデン	イエテボリ大学S.A.アカデミー	院
	数理科学研究科	
フランス	エコール・ノルマル・スューペリュールリヨン数学科	院
ロシア	国立研究大学高等経済学院(HSE)	院
	新領域創成科学研究科	
中国	同済大学院 ※工学系と担当	院
中国	北京航空航天大学電子情報工程学院航空科学与 工程学院 ※工学系と担当	院
シンガポール・ 中国	シンガポール国立大学設計・環境学部 同済大学 建築・都市計画学院 清華大学 建築学院 ※工学系と担当	院(M)
韓国	韓国科学技術院(KAIST)工学研究科	院
タイ	カセサート大学理学部	院
ブラジル	カンビナス大学機械工学部	院
ブラジル	ペルナンブコ連邦大学	院
ブラジル	リオデジャネイロ連邦大学	院
ブラジル	サンタカタリーナ連邦大学	院
ケニア	ナイロビ大学	院
ナイジェリア	イバダン大学	院
南アフリカ共和国	ケープタウン大学工学・構築建築部	院
オーストラリア	ロイヤルメルボルン工科大学	院
オーストリア	ウィーン工科大学	院
フランス	フランス国立応用科学院リヨン校	院
フランス	エコール・ノルマル・スューペリュールリヨン	<u></u> 院
フランス		
フランス	ジャンモネ大学	院
フランス	クロード・ベルナール・リヨン第一大学	院
ドイツ	ヴュルツブルグ大学生命科学研究科	院
英国	     インペリアルカレッジロンドン工学研究科化学工学専攻	院
UAE	マスダール科学技術大学	院
EU	*ミュンヘン工科大学、パリ・ラヴィレット建築大学、リスボン工科大学、ルーバン大学、ソフィア建築・土木・測地学大学*(AUSMIP) ※工学系と担当	院(M)

国·地域	協定校	対象		
その他	"シントルーカス大学建築及び都市計画学部、フランス国立パリ建築大学ラビレット校、リスポン工科大学建築学部、ミュンヘン工科大学建築学部Building Realization & Informatics講座、ソフィア建築・土木・測地学大学"(AUSMIP+) ※工学系と担当	院(D)		
その他	国連大学サステイナビリティ高等研究所	院		
	情報理工学系研究科	1		
オーストリア	ウィーン工科大学 (VUT)	院		
デンマーク	デンマーク工科大学(DTU)	院		
フィンランド	アールト大学(旧ヘルシンキエ科大学)	院		
フランス	エコール・スューペリュール EA (ESIEA)	院		
フランス	セントラルスープレック (エコール・セントラル・パリ)	院		
フランス	IMT Atlantique (旧エコール・デ・ミン・ド・ナント)	院		
フランス	エコール・ノルマル・スューペリュール・カシャン (ENSC :カシャン高等師範学校)	院		
フランス	フランス国立応用科学院リヨン校 (INSA Lyon)	院		
ドイツ	ミュンヘン工科大学(TUM)	院		
ドイツ	ダルムシュタット工科大学(TUD)	院		
ドイツ	ウルム大学 (Ulm)	院		
イタリア	トリノエ科大学 ※工学系と担当	院		
ノルウェー	ノルウェー工科自然科学大学(NTNU)	院		
スウェーデン	リンシェピン大学理工学部 ※工学系と担当	院		
スイス	チューリッヒ大学自然科学部・経済学部(UZH) ※工学系と担当	院		
EU	ピエール・エ・マリー・キューリー大学(パリ第6大学)と のErasmus Mundus Programme (Erasmus+ ICA)	院		
情報学環・学際情報学府				
韓国	ソウル大学校社会科学大学言論情報学科	院		
中国	北京大学 国際関係学院(PKU-SIS)	院		
韓国	ソウル大学校 国際大学院(SNU-GSIS)	院		
シンガポール	シンガポール国立大学リー・クァンユー公共政策大学 院(LKY-SPP)	院		
ブラジル	ジェトゥリオヴァルガスビジネススクール(FGV)	院		
アメリカ	コロンビア大学国際公共政策大学院(SIPA)	院		
アメリカ	カリフォルニア大学サンディエゴ校グローバル政策 & ストラテジー研究大学院	院		
オーストラリア	オーストラリア国立大学(ANU)クロフォード公共政策 大学院	院		
フランス	パリ政治学院(Sciences Po.)	院		
フランス	HEC経営学院(HEC Paris)	院		
ドイツ	ヘルティー・スクール・オブ・ガバナンス(HSoG)	院		
ドイツ	ハイデルベルク大学 The Graduate Programme for Transcultural Studies (GPTS)	院		
		院院		

※2018年2月1日現在、交換留学を実施するため、東京大学が学生交流覚書を締結している協定校を掲載しています。ただし、覚書の更新や取扱いの検討等により調整中につき掲載されていない協定校があることや掲載されていても当該年度に交換留学を実施していない場合もあるため注意すること。

※担当学部・研究科ごとに取扱いが異なるため、詳細は担当学部・研究科に確認すること。

#### ②その他のプログラム

#### 東京大学リベラルアーツ・プログラム(教養学部・総合文化研究科)



リベラルアーツ・プログラム(LAP)は、教養教育を海外へ発信し、学生交流を通じてグローバルな視野と総合的判断力を備えた人材の育成を目指す教育交流プログラムです。中国の南京大学と連携し、(1)毎年3月に学部1年生から院生までの混合チームを派遣してフィールドワークとグループ討論を行います(1週間派遣)。(2)毎年8月に南京大学で中国語の特訓サマースクールを実施し、中国語履修の学部2年生を派遣します(3週間派遣)。(3)毎年11月に南京大学の学生を駒場に招き、東京大学一週間体験プログラムを実施。東大生とともにフィールドワークとグループ討論を行います(1週間)。さらに、(4)学部3年生以上を対象に、中国語上級サマースクール「深思北京」を、中国人民大学と連携して、秋に開講しています(1週間派遣)。詳しい紹介と参加者の体験談はLAPのウェブサイトをご覧ください。意欲的な学生の参加を期待します。

対象学生:主に学部学生を対象とするが大学院生も参加可。専攻・学年の別は問いません。 実施期間:時期:上記参照。

応募方法:レポート審査もしくは面接。

問合せ先:総合文化研究科・教養学部附属教養教育高度化機構国際連携部門

#### 海外大学院とのダブル・ディグリー・プログラム(公共政策学教育部)



東京大学公共政策大学院(GraSPP)は、東京大学の大学院 の中で最も留学生比率の高い大学院です。英語のみで学位が取 れるプログラム (MPP/IP) や日中韓交流プログラムであるキャンパ スアジアがあり、全体のほぼ半数が、30か国近くからの留学生で 賑わっています。またGraSPPには、充実した留学プログラムがあ ります。GPPN(Global Public Policy Network:世界公共政 策ネットワーク)の協定校6校を始め、キャンパスアジアの協定校2 校など、14大学と交換留学やダブル・ディグリー・プログラム(DD) を行っています。交換留学またはDDによって毎年20名程度の学 生が派遣され、20名程度の留学生を受け入れています。ダブル・ ディグリー・プログラムとは、東大で1年、海外の協定校で1年学ぶ ことによって最短2年で二つの大学からそれぞれ学位を取得するこ とができるプログラムです。DDが出来る協定校は、コロンビア大学 (ニューヨーク)、パリ政治学院(パリ)、シンガポール国立大学(シ ンガポール)、ヘルティ・スクール・オブ・ガバナンス(ベルリン)、ロン ドン・スクール・オ ブ・エコノミクス・アンド・ポリティカル・サイエンス (ロンドン)、ソウル大学校(ソウル)、北京大学(北京)、オーストラ リア国立大学(キャンベラ)の8校です。詳細については公共政策 大学院のウェブサイトを参照してください。

対象学生:公共政策学教育部の大学院学生 説明会:毎年10月(入学前の方の参加も可) 実施期間:交換留学は1クオーターから1年、ダブル・ディグリーは1年

公共政策大学院: http://www.pp.u-tokyo.ac.jp/index.html

問合せ先:exchange@pp.u-tokyo.ac.jp, campusasia@pp.u-tokyo.ac.jp

#### 国際交流促進プログラム(農学生命科学研究科)





農学生命科学研究科では、本研究科に在学する大学院学生を対象として、より深く、かつ幅広い研究活動や、国内外で活躍する研究者や企業の方々とのネットワーク形成を支援することを目的として「博士課程進学促進プログラム」を創設いたしました。なお、平成30年度からはプログラムの名称を「国際交流促進プログラム」に変更します。具体的な内容については、引き続き大学院学生が希望する海外の大学・研究所・研究機関等への留学を支援する留学支援プログラムや、大学院学生が中心となって、国内外の研究者や企業の方を招待したセミナーやシンボジウム等を企画・開催し、ネットワーク形成を支援するSNP(Scientific Networking Program)プログラムを通じて、大学院学生の様々な国際交流活動を支援します。平成30年4月に「平成29年度博士課程進学促進プログラム報告会」を開催いたしますので、興味のある方は、是非ご参加ください。報告会では農学系以外の所属学生も歓迎します!本プログラムや報告会の詳細については、農学生命科学研究科・農学部のウェブサイトを参照してください。

対象学生: 農学生命科学研究科に在学する大学院学生

実施期間: (留学支援)2018年7月~2019年2月末を予定 (SNP)2018年度中に全体セミナーを開催予定 応募方法: 留学支援、SNP両プログラムとも書類審査

URL: http://www.a.u-tokyo.ac.jp/index.html

問合せ先:農学系教務課学生支援チーム(学生生活担当)

#### 理学部学生国際派遣プログラム(理学部)



2015年度から開始された理学部学生国際派遣プログラム (SVAP)では、選抜された理学部学生を研究実習(インターンシッ プ) や短期講座受講(サマースクール等) のために2週間から3ヶ月程 度の期間海外の大学や研究機関に派遣しています。応募を希望す る学生は、興味のある分野の研究を行っている海外の教員や研究者 に自力でコンタクトを取り、インターンシップの受入許可を得るか、ある いは参加したい海外のインターンシップや短期講座のプログラムを見 つけて応募等の必要な手続きを行った上でSVAPに応募します。書 類審査と英語による面接を経て採択されたSVAP派遣生は、自分で 組み立てた渡航計画に沿って、理学部の経済支援のもと、海外での 研究や講座受講を体験します。これまでの派遣生は、アメリカやイギリ ス、ドイツ、フランスなどの様々な大学や研究機関でインターンシップ やサマースクールに参加し、充実した研究や学修の体験を得て帰国 しました。その様子の一部は、以下のフェイスブックページで読むこと ができます: https://www.facebook.com/UTokyo.SVAP/ ハードルの高いプログラムですが、その分、プログラムへの参加を経 て大きく成長することができます。また、自分で行き先も期間も決めら れる自由度の高さも好評です。意欲的な学生の応募を歓迎します。 対象学生: 理学部学生

実施期間: 時期:5月~3月の間の2週間~3ヶ月間(応募者自身が決定) 応募方法: 応募書類提出(1月下旬または2月上旬頃締切) 書類・面接審査により選考 URL: https://www.s.u-tokyo.ac.jp/ja/offices/ilo/svap/application.html 間合せ先: ilo.s@gs.mail.u-tokyo.ac.jp

### 5) 個人応募の留学・インターンシップ、ボランティア等

#### 個人応募の留学プログラム

海外留学プログラムについては、東京大学が募集するもの以外にも、海外の大学や民間の留学業者などが募集するプログラムがあります。これらの内容・時期・期間は多岐に渡りますので、皆さんのニーズを満たすものもきっとあるでしょう。東京大学の協定校や政府機関が募集するものについては、Go Globalウェブサイト(p33)でも随時案内しているので、確認しましょう。

#### 長期留学プログラム

1学期~1年程度留学する場合には、以下のような方法があります。

#### 一海外大学のVisiting Student プログラム

海外の大学では、Visiting Studentというような身分で他の大学の学生を受け入れるプログラムを設けているところもあります。授業料・宿舎費用などが自己負担のため高額になる場合が多いですが、これらのプログラムも対象としている奨学金プログラムもあります。(p34)

#### 一学外の団体によるプログラム

長期のプログラムを扱う学外の団体もあります。留学手続き等のサポートが充実している場合が多いですが、費用が高くなる傾向があります。ただし、奨学金が支給されるプログラムもありますので、良く条件等を調べることをおすすめします。

#### 短期留学プログラム

毎年、夏季には、世界中の大学で外部学生を受け入れるサマープログラム(語学研修等も含む)が実施されます。このようなプログラムに個人で参加することも可能です。斡旋する民間業者も沢山あります。長期のプログラム同様に、奨学金の機会もあります。(p34)

#### 個人応募を行う際の注意

手続きを全て自分で進めることになりますので、事前に十分な情報収集を行うことが必要です。(参考) 日本学生支援機構「留学斡旋業者の利用について」

http://ryugaku.jasso.go.jp/oversea\_info/basic/agency/

また、応募前に、留学時に所属する学部・研究科等の担当 部署にて手続き等を良く確認しておくことも重要になります。 安全と危機管理の面でも十分に注意するようにしましょう。

#### 海外インターンシップ・ボランティア

留学プログラム以外にも、海外で行う活動としてインターンシップやボランティア等のプログラムが海外企業、大学、 国際機関等で実施されています。

#### 海外インターンシップ

海外の企業や国際機関で研修生として働いたり、研究機関等で研究活動を行ったりするものがあります。有給のもの無給のもの、また滞在費が支給されるものなど、様々なプログラムが実施されています。

#### ボランティア

世界各国において、経済・社会の発展、復興への寄与、友好親善・相互理解等を目的としたプログラムが開催されています。参加費用・語学要件などは、プログラムによりますが、留学等に比べると参加しやすいものとなっているケースが多いようです。渡航先は、発展途上国が多いことからプログラム参加にあたっては安全面等の情報収集が重要です。実施団体の指示等に従うことはもちろん、東京大学の「海外渡航危機管理ガイドブック」の内容も良く理解しておくようにしましょう。

#### 〈海外インターンシップの例〉

プログラム名	実施国·地域	実施時期	募集締切	備考
IARUサステイナブルキャンパス交換学生	開催年により異なる	8~9月頃	5~6月頃	IARU加盟大学のいずれかでサステイナブルキャンパス活動に従事
香港大学Learn, Live and Intern in China (LLIC)プログラム	香港	6~8月頃	1月頃	1週間の授業と8週間のインターンシップ(香港または中国本土の 企業)を組み合わせたプログラム
中谷RIES(Research and International Experiences for Students)フェローシップ	米国・ライス大学	8~9月頃	12~1月頃	米国ライス大学の夏季講習生として研究室に所属してリサーチを 体験する。費用助成完備。



### 6) 学内でできる国際体験

#### ①各種プログラム

東京大学では100以上の国と地域出身の約4,000名の留学生が 学んでいます。キャンパス内でも国際体験ができる機会が数多くあ りますので、留学の準備や国際交流の機会として活用しましょう。 以下に一例を紹介します。

#### IARU Global Summer Program東京大学開講コース

東京大学は、例年7月頃、IARU Global Summer Programにより、世界のトップレベル11大学の学生を受け入れる英語プログラムを実施しています。

以下の東京大学において開催されるコースは、学部3年生以上の本学学生は集中講義として通常の授業と同様に受講可能となる予定です。(教養学部前期課程の学生は履修できません。)海外大学の学生も東大生との交流を希望しており、また英語での授業のため留学の準備としても効果的です。

- Sustainable Urban Management(工学部開講)
- Nanoscience(工学部開講)
- Japan in Today's World(法学部開講)

※開講時期・内容については授業カタログを参照のうえ、参加を希望する場合は履修登録時に履修手続を行ってください。他学部聴講となる場合は、所属学部・研究科の規則により履修可能かどうか確認してください。

#### スペシャル・イングリッシュ・レッスン(SEL)

「スペシャル・イングリッシュ・レッスン(SEL)」は、英会話に慣れたい、英語力を向上させたいという学生向けのプログラムで、東大生であればどなたでも受講可能です。日常会話、プレゼンテーション、ディスカッション、TOEFL対策等さまざまなコースがレベル別に提供され、比較的低価格で受講できます。

外部英語学校から経験豊かなネイティブ・スピーカー (TOEFL講座は一部日本人講師)を招き、毎年春と秋に10週間ずつ本郷キャンパスで開講します。みなさんも週1-2回、集中して英語に取り組んでみませんか。

http://www.sel-ut.com

#### ICYou (International Cafe for You)

ICYouは、工学系研究科日本語教室が主催する多文化・多言語 国際交流の場です。東京大学で学ぶ留学生と日本の学生が、専 門や国を超えて出会う気軽な集まりです。

学期中、毎週木曜日のお昼に工学部11号館の2階テラスで開催しています。リラックスした雰囲気で情報交換や意見交換ができ、また新しい友達にめぐり合えるチャンスです。コーヒーと紅茶を用意していますので、温かい飲み物で一息つきながら、またはランチを食べながらの肩肘張らない国際交流ができます。アニメの話題から突っ込んだ議論まで、英語でも日本語でも言語の縛りはありません。本郷キャンパスでちょっと身近な国際交流に参加してみませんか。スケジュール等の詳細は以下でご確認下さい

http://www.jlcse.t.u-tokyo.ac.jp/

#### 国際化教育支援室による国際交流活動の例

東京大学国際化教育支援室では、さまざまな国際交流活動を実施しています。

#### (1) 本郷キャンパス

留学生との交流を目的として、留学生支援室ではFACE (Friendship And Cultural Exchange)プログラム、中国語茶話会、言語交換プログラムなどを実施しています。また、国際交流を目的としたキャンパス内の学生活動の情報提供等も行っています。詳細は以下の「留学生支援ウェブサイト」でご確認ください。

http://www.u-tokyo.ac.jp/adm/inbound/ja/

#### (2) 駒場キャンパス

留学生とともに日本伝統芸能の鑑賞や文化体験をするイベントから、「ドッヂビー&交流会」といったスポーツイベントまで、様々な国際交流の場を提供しています。また駒場エキャンパスでは、毎週火曜日に国際交流を目的としたInternational Gatheringを開催しています。詳細は以下の「グローバル駒場」ウェブサイトでご確認ください。

http://www.globalkomaba.c.u-tokyo.ac.jp

#### (3) 柏キャンパス

柏キャンパスで学ぶ留学生、研究等で招聘された外国人研究者およびその家族と、日本人ボランティアが1対1で交流するため「1対1交流プログラム」を実施しています。基本的に日本語での会話を通し、日本語の上達、日本の文化・歴史を知ること等を目的としたものです。

また、大学院生及び職員を対象に、平日に柏キャンパス内の教室を利用して英語講座を開講しています。英会話講座、科学技術英語講座の他にTOEFL集中講座やテクニカルライティングセミナーも受講できます。詳細は以下の「留学生支援ウェブサイト」でご確認ください。

http://www.u-tokyo.ac.jp/adm/inbound/ja/



ICYouでの活動の風景

#### グローバリゼーションオフィス(総合文化研究科・教養学部)

グローバリゼーションオフィスでは、駒場キャンパスで学ぶ皆さんが、国内外で様々な国際経験を積めるようサポートする活動を行っています。活動の大きな柱は、海外を知る、海外で学ぶ、国際交流の3つです。

世界の様々な国や地域について広く見識を深めたい学生のためには、大使館員や海外出身の教員が、各国事情を語るカジュアルな講演会やセミナーを開催しています。過去にはイタリア、スウェーデン、オーストラリア、アメリカ、フランス、ブラジル、トルコなどの大使館員の方々が様々なテーマでレクチャーを行いました。

国際交流に興味がある学生には、留学生や日本人学生が参加できるフィールドトリップや体験型セミナーを開催しています。例年秋には留学生と共に学ぶ浅草・上野フィールドトリップを行っています。その他、グローバリゼーションオフィスと連携しながら交流活動や留学生支援を行う学生団体TGIFは日本人学生や留学生が参加できる生協前での昼食会(毎週木曜日)や様々な交流イベントを企画・実施しています。

もっと積極的に、留学生をサポートしたいという学生にはGO Tutorという仕事もあります。チューターの任務は主に英語プログラムで学ぶPEAK1年生や交換留学生を学習面、生活面でサポートする事で、活動は主にグローバリゼーションオフィスのラウンジで行います。年2回、学期初めに新メンバーを募集しています。

海外留学に興味のある学生向けには、ミニ留学相談会、 TOEFL/IELTS説明会、留学成果発表会などを開催していま す。オフィスでは、留学関連資料を閲覧でき、教職員や学生留 学アドバイザーが随時個別の留学相談にも応じています。また交換留学プログラムで海外派遣が内定した駒場在籍の学生には年に2回、留学前研修を実施しています。

短期に海外で学びたい学生には、国際研修プログラムを提供しています。国際研修とは、異なる言語・文化の環境に触れ、国際交流の現場を体験し、グローバルな視野を養うことを目標とした短期の海外研修プログラムです。現在までに、オーストラリア、ギリシャ、フランス、メキシコ、イタリア、ドイツ、トルクメニスタン、ハンガリーなどで研修が行われました。

今回ご紹介したイベント、プログラム、活動に興味を持った方は是非ウェブサイト、Facebookをチェックし、情報配信サイトにご登録下さい。

http://www.globalkomaba.c.u-tokyo.ac.jp https://www.facebook.com/GlobalKomaba



#### Global Studies Program

Global Studies Programは、教室での学びを通してアカデミックな国際交流の実践力を養うためのプログラムです。教養学部後期課程の学融合(学科横断型)プログラムの一つですが、本プログラムで提供されている科目は他学部の全ての学生に開かれており、科目受講が可能です。文化の多様性、多元化が進む現代において、他者や異文化に対して創造的に開かれた眼差しを獲得し、対話力を鍛えることの重要性はますます高まっています。このプログラムでは、文化的・社会的背景の異なる学生たちと共に学び、活動の場を共有することを通して、国際的な視野を身に着け、多言語、多文化の中で活躍できる人材の育成を目指します。「グローバル教養実践演習」では海外の学生とのディスカッション、グループワーク、近郊地域へのフィールドワークなどを通して共同演習を行います。特に留学を考えている学生には、キャンパスにいながらにしてプレ留学体験ができる場ともなっています。



#### ②国際総合力認定制度 Go Global Gateway

#### Go Global Gatewayとは

東京大学では、2018年4月から国際総合力認定制度 Go Global Gatewayをスタートします。「世界の多様な人々と共に生き、共に働く力」を国際総合力と呼び、条件を満たした皆さんに、国際総合力の基礎が身についたものとして、認定証を授与するものです。この制度を利用して、積極的に国際交流をしてください。

#### 対象

2018年度4月·9月 学部前期課程入学者

#### 国際総合力の5つの要素



#### ここが ポイント!

- ●自分だけのポートフォリオを作れます!
- グローバルキャンパス推進本部が主催するワークショップ、国際交流イベントなどへ優先的に招待!
- ●国際交流・留学について最新情報を入手できます!

#### 認定の流れ

※提出締切は ウェブサイトを確認して下さい。

#### ①専用ウェブサイトからログインし、Go Global Statementを提出

UTokyo Accountを使用してログインします。

国際総合力を構成する上図の5つの要素を身につけるために、在学中に何をするべきか、どのように国際総合力を身につけたいかを記した Go Global Statementを提出しましょう。

#### ②在学中に国際交流活動や留学プログラム等に参加

指定する4種類の活動から3種類以上に参加しましょう。その活動がグローバルキャンパス推進本部から承認されると、オリジナルのポートフォリオ(活動記録)に反映されます。

#### ③認定申請レポートの提出

②の条件を達成したら、認定申請レポートを提出します。国際総合力の5つの要素がどのように身についたかを振り返りましょう。

#### ④認定証の授与

レポートが承認されると認定証が発行されます。この認定証とポートフォリオは在学中ならいつでもダウンロード可能です。 認定証授与後も国際交流活動等を続けることで、ポートフォリオを充実させることができます。

詳しくはQRコード/URLからウェブサイトへ

問合せ先: 国際総合力認定制度Go Global Gateway担当 go-gateway.adm@gs.mail.u-tokyo.ac.jp

https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-gateway/ja/

### 7) 卒業後の大学院留学

ここまで、交換留学、3 + 7 月未満の留学、個人応募のプログラムといった、東京大学在学中の留学について紹介してきました。東京大学では現在、主に在学中の留学をサポートしていますが、卒業後の海外の大学院への留学についても情報提供などを行っています。

#### 海外大学院のシステム

海外の大学院には大きく分けてGraduate Schoolと、Professional Schoolの二つの種類があります。Graduate Schoolでは、東京大学在学中に学んだ学術研究をより専門的に深めることができます。一方、Medical、LawやBusinessに代表される Professional Schoolでは、職業に直結した教育を受けることができます。世界各国で教育システムが異なるように、海外の大学院のシステムは日本と異なることが多いので十分な情報収集が必要です。

大学院レベルで提供される学位は、修士号(Master's Degree) と博士号(Doctoral Degree or Ph.D.)があります。

修士課程は、通常1~2年間の課程です。大きく分けると「アメリカ型」と「イギリス型」に分けられ、その主な特徴は以下の通りです。アメリカ型:入学時期は8月末~9月が一般的。修了までに基本的には2年を要す。ほとんどの大学が2学期制を採用。

イギリス型:入学時期は9月~10月が一般的。通常1年で修了する ことができる。ほとんどの大学が3学期制を採用。

博士課程は、通常3~8年間の課程です。プログラムによっては大学の学部課程を修了後、修士課程を経ず、直接博士課程に出願することも可能です。

#### 大学院留学の情報収集

留学先の国や大学によって制度が異なる場合が多く、学士課程時の 専攻と異なる分野での留学も可能なため、事前の情報収集が重要で す。東京大学では、以下の方法で情報を入手することができます。

#### ● 東京大学Go Globalウェブサイト

「留学プログラム」のページの一覧表で、東京大学宛に案内のあった大学院留学プログラムを随時紹介しています。また本ガイドブックの「留学にかかる費用と奨学金」(p34)で大学院留学に関する奨学金情報も提供しています。

#### ● 説明会等の大学院留学関係イベント

東京大学Go GlobalウェブサイトやSNS(p33)で、海外大学や 各国大使館などが主催する説明会等、大学院留学関係のイベント を紹介しています。東京大学と関係の深い大学については東京大 学で説明会が行われる場合もあります。

#### UT-OSAC (Overseas Study Advisory Community, the University of Tokyo)

東京大学の卒業生を中心とした団体である、UT-OSACでは、海外大学院留学に関する情報提供や説明会等の開催、およびそのサポートを行っています。UT-OSACウェブサイト: www.ut-osac.org/index.html

#### 海外大学院留学説明会主催者から

#### 南出将志

(2013年工学部社会基盤学科卒業 2014年工学系研究科社会基盤学専攻修士課程修了 ペンシルバニア州立大学気象学部博士課程)

私達は海外大学院留学を就職、進学に次ぐ第三の選択肢と考えています。これは日本での「既定のコース」とは異なるためハードルが高く、あまり身近でない選択肢かもしれません。しかし、その先には刺激的で数奇な体験と、大きく広がる世界観があなたを待っています。年二回(夏・冬)の説明会開催時には、世界トップクラスの大学院から多様な留学生や卒業生、教職員を講演者として招き、海外の大学院への出願方法や、利点、欠点、実際の生活の様子などを紹介しています。留学を通じて世界で勝負してみならん、ぜひ説明会に足を薄んでみてください。



#### 大学院留学のスケジュールと必要なもの

海外の大学院への出願プロセスは、国内大学のものとは全く異なります。特に、アメリカやヨーロッパを中心として「GPA」「英語のスコア」「推薦状」「エッセイ」などを求められることが多いので、ここではそれらについて紹介します。具体的な点数や、そのほかに提出を求められるものなどは、出願先によって大きく異なりますので、詳しくは出願先の大学院のウェブサイトなどを直接確認しましょう。

- ●GPA: Grade Point Averageの略、授業成績の平均点を指します。後から取り戻せないものなので、早い段階から意識を割いておきましょう。
- ●英語のスコア:TOEFLやIELTSが該当します。特にアメリカの大学院出願に必要なTOEFL iBTは、大学の講義や議論といった状況が想定されており、出願時だけでなく、進学後の英語対策にも効果的です。また、英語以外の共通試験として、アメリカの殆どの大学院ではGREの受験が求められます。
- ●推薦状:計三通の提出を求められることが多いです。受験者の経験や能力、才能、人柄に関する記述が、具体的に書かれていることが大事なポイントとなります。自身の強みを多様な 観点から評価頂けるように、先生方との関係を築いて下さい。
- ●エッセイ:志望動機や、自身の研究での強みなどをまとめた文章です。具体的に書けるように、専門分野の勉強を積み重ねましょう。
- ●その他:研究業績(インパクトファクターの高い雑誌の筆頭著者論文など)や、外部奨学金などを持っていると高く評価されます。また、事前に受験先(指導教官の候補等)に連絡を取り、出願の意思表示をすると共に、自身の能力やどのような内容の研究が可能であるか等について、積極的な情報交換を行うことも非常に効果的です。

最終的な合否の判断は、これらの総合評価となります。出願年は出願書類や奨学金の応募書類、業績を上げるための卒業(修士)研究に集中できるように、それまでにGPAや英語のスコアなどの準備を整えておきましょう。

# $\Pi$

<b>1.</b> 情報収集方法 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	p33
2. 留学にかかる費用と奨学金 ・・・・・・・	p34-37
1)費用と奨学金例・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	p34-35
2)支援者及び先輩奨学生の声・・・・・・・・・	p36-37
3. 留学における学籍・単位認定・・・・・・	p38-39
	p40
4. 語字能刀模定試験 ************************************	p40
5. 安全と危機管理・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	p41
6. 留学と就職活動 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	p42
7. 東京大学の留学・国際交流関係部署	p43
 8. よくある質問 ······	· · · · · · · · p44-45

留学 · 国際交流関連情報

# 1. 情報収集方法

有意義な留学・国際交流の成否はどれだけ情報収集を行ったかで左右されると言っても過言ではありません。以下のようなツールを活用して、主体的に情報を集めましょう。

#### 各学部・研究科の情報

p33-45

各学部・研究科等独自の海外留学・国際交流プログラムについては、各学部・研究科のポータルサイトや掲示板、窓口等で情報が得られます。(p43)また、留学の際の東京大学での学務上の注意点(留学中の授業履修・単位・学籍など)も各学部・研究科によって異なるので、必ず申請前に担当部署へ確認するようにしましょう。

東京大学全体・グローバルキャンパス推進本部のプログラムの情報

#### ①Go Global ウェブサイト

留学プログラムだけではなく、奨学金や安全管理等について本ガイドブックよりさらに詳細な情報や最新の情報が掲載されています。また、グローバルキャンパス推進本部のプログラムでは過去に参加した学生の体験記も読むことが可能です。経験者の生の声も参考にしましょう。 URL 【https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/】(「東大」「留学」で検索)



#### ②Go Global公式SNS アカウント

グローバルキャンパス推進本部からの直接の発信で、留学プログラムや奨学金関連の新着情報をお知らせします。募集期間が短いものもあるので、以下のアカウントをフォローすれば、有益な情報をリアルタイムで得ることもできます。

Facebook: @todai.go.global
Twitter: @todai\_global
LINE@: @nzn2125l

\*右のQRコードからもフォロー・友達申請が可能です。

#### ③Facebookグループ「Todai Go Global Network」

東京大学の在学生・教職員・卒業生が海外留学・国際交流に関する情報を交換できるFacebookの非公開グループです。参加にあたっては本学関係者であることの認証手続きが必要です。詳細はGo Globalウェブサイトを確認してください。

#### ④留学・国際交流関連イベント

グローバルキャンパス推進本部では年に1回の大規模な春の留学フェアに加え、秋の留学説明会や年に数回、比較的小規模な留学プログラム・海外インターンシップ等の説明会を開催しています。説明会は担当者やプログラム参加者の話を直接聞くことができるよい機会です。

また、海外大学や各国大使館などが主催する留学関連イベントも多数開催されているので目的に応じて積極的に参加してみて下さい。説明会・イベントの情報は①Go Global ウェブサイトや②Go Global 公式SNSアカウントなどで紹介をしています。

#### ⑤Go Globalセンター内 留学生・留学情報サポートデスク

Go Globalセンターでは、留学に関する書籍や資料などを閲覧できます。また留学生・留学情報サポートデスクで、海外留学に関する一般的な問い合わせ・質問に対応します。サポートデスクの開設時間等は、以下のウェブサイト上のカレンダーでご確認ください。

http://www.u-tokyo.ac.jp/adm/inbound/ja/ 場所:本郷キャンパス理学部1号館東棟1階 Go Globalセンター内

#### 海外同窓会ネットワーク

日本国内のみならず、世界各国でも東京大学卒業生のネットワーキングが進んでいます。(東京大学校友会登録団体数300、うち海外同窓会53。)東京大学校友会に登録された海外同窓会に所属する約6000名の海外在住卒業生が、体験活動プログラムや、サマー/ウィンタープログラム、留学など様々なシーンで在学生をサポートしています。詳細は卒業生室にお問い合わせください。

東京大学卒業生室 E-mail: tft.adm@gs.mail.u-tokyo.ac.jp



# 2. 留学にかかる費用と奨学金

### 1)費用と奨学金例

#### ①費用一般について

国・地域によりますが、一般的に留学にはおよそ200~300万円以上の学費・生活費等がかかります。日本での学費・生活費と比較して検討してみましょう。

東京大学のグローバルキャンパス推進本部や各学部・研究科が 担当する交換留学などの場合には、原則として留学先に授業料を 納める必要はなく、東京大学に東京大学の授業料を納めることに なります。

また、交換留学以外でも、東京大学を通じて申し込むプログラム では、プログラムの実施機関から東京大学の学生向けの費用の割 引・免除・参加補助などが受けられる場合があります。

ある学生の費用例(下グラフ参照)

参加プログラム:全学交換留学

参加期間:8ヶ月間(2セメスター)

費用合計:197万円

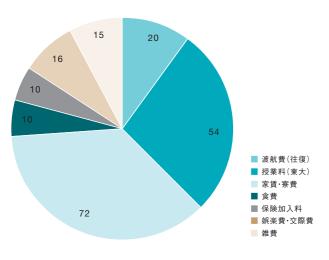
奨学金:64万円(月8万円)

自己負担額

197万円-64万円=133万円

いかがでしょうか?この例以外にも、留学体験記(p9-11)やGo Globalのウェブサイトに掲載されている、留学経験者の報告書にも留学に要した費用について記載があります。留学計画の参考にしてみてください!

#### ● 留学にかかる費用例(単位:万円)



#### ②海外留学等奨学金について

#### ● 奨学金の種類(期間・目的・応募方法)

まず、留学・海外活動の期間によって、概ね3ヶ月以上、3ヶ月未満と奨学金支給の対象が分かれています。さらに奨学金によっては交換留学、学位取得、その他(インターンシップ、ボランティア等)などその種類や目的を限定している場合があるので注意しましょう。

東京大学は「東京大学海外派遣奨学事業 海外留学等奨学金」(2018.2現在)を設け、学生の留学・海外活動を支援しています。留学の期間により、短期(3ヶ月以上1年以内)または超短期(3ヶ月未満)の留学を対象として奨学金に応募が可能です。

また、東京大学独自の奨学金だけでなく、外部団体が公募する 奨学金にも応募が可能です。外部団体の奨学金には、東京大学 を通じて応募するもの(大学公募型)と、個人で外部団体へ直接 応募するもの(個人応募型)があります。

#### ● 奨学金の探し方

東京大学及び外部団体からの主な奨学金の公募情報は、東京大学Go Global ウェブサイト(p33参照)上で随時更新しています。期間・種類別に一覧で掲載していますので自分の留学・海外活動の内容と照らし合わせて探してみましょう。奨学金の応募締め切りは留学開始の半年ほど前に設定されていることがほとんどです。留学や海外活動を考え始めたら、早めに奨学金についても情報収集すると良いでしょう。また、「他奨学金との併給を認めない」とする奨学金もあるので、併願する際は充分注意して下さい。

#### 東京大学を通じて応募するプログラムに参加する場合

交換留学や3ヶ月未満の留学プログラムなど、東京大学を通じて申し込むプログラムに参加する学生には、東京大学・その他支援団体等からの奨学金を支給する可能性があります。奨学金支給の有無や金額は、奨学金支給団体が定める条件(成績・家計基準等)や参加費用、使用可能な財源等を勘案の上、決定されます。グローバルキャンパス推進本部が実施する全学交換留学プログラム、UC派遣プログラム、全学短期派遣プログラムについては原則、希望する学生全員に返済不要の奨学金を給付しています。海外有力大学の各種プログラムへ東京大学からの奨学金を経て参

#### 学位取得のため留学する場合

加することが可能です。

例えば2年間にわたり修士の学位を取得するために留学する場合な どは、日本学生支援機構(JASSO)海外留学支援制度(大学院学位 取得型)ほか様々な外部団体が公募している奨学金に応募できます。

#### 主な海外留学等奨学金一覧

(2018.2現在)

#### 奨学金の申請方法

大学公募型(東京大学による推薦や取りまとめが必要なもの)と個人応募型(個人で直接応募するもの)があります。

●大学公募型では、奨学金申込書を所属学部・研究科の窓口に提出してください。提出書類や提出締切については各自所属学部・研究科窓口に確認してください。●個人応募型では、東京大学を通さずに個人で、直接応募することとなります。

#### 1) 3ヶ月~1年以上の留学が対象の奨学金

奨学金・プログラム名	支援期間	金額·対象	申請先
*1東京大学海外派遣奨学事業 短期(3ヶ月以上1年以内)海外留学等奨学金	3ヶ年~1年	月額6万円~10万円	所属学部·研究科
*2官民協働海外留学支援制度~トビタテ!留学JAPAN日本代表プログラム~	1ヶ年~2年	月額12~16万円、留学準備金15~25万円、学費等	所属学部·研究科
(公財)KDDI財団 日本人留学生助成プログラム	1年~2年	月額20万円	所属学部·研究科
(公財)経団連国際教育交流財団 産業リーダー人材育成奨学金奨学生	1年または2年	学費、生活費等として年間450万円を一律支給	所属学部·研究科
(公財)経団連国際教育交流財団 日本人大学院生奨学生	1年または2年	学費、生活費等として年間350万円を一律支給	所属学部·研究科
公益信託ヤマハ発動機国際友好基金 海外派遣日本人奨学生	1年以内	月額10万円	所属学部·研究科
(公財)佐藤陽国際奨学財団 派遣留学奨学生	6ヶ年~1年	月額8万円、渡航費25万円、交換留学一時金10万円	所属学部·研究科
(公財)業務スーパージャパンドリーム財団 派遣留学奨学生	1年以内	月額15万円	所属学部·研究科
TOMODACHI住友商事奨学金プログラム	1年	150万円	所属学部·研究科
(公財)阪和育英会 海外留学奨学生	1年	月額7万円、留学準備金15万円	所属学部·研究科
(公財)日本国際教育支援協会 学研災グローバル人材育成奨学金	3ヶ年~1年	月額10万円、往復運航費	所属学部·研究科
百賢亞洲研究院日本人学生交換留学奨学金	1年	年額12,500米ドル(中国・香港・台湾・韓国の指定大学への留学)	所属学部·研究科
東京大学トヨタ高度人工知能人材育成のための海外留学奨学金	1年(場合により延長可)	月額22万円、授業料支援上限あり、人工知能分野で の学修又は研究	所属学部・研究科
(公財)平和中島財団 日本人留学生奨学生	2年以内	月額15万円から20万円、往復渡航費	直接応募
(公財)経団連国際教育交流財団	8ヶ年以上1年未満	100万円	直接応募
経団連グローバル人材育成スカラーシップ奨学生	理工系は6ヶ月以上1年未満		
(独)日本学生支援機構第一種奨学金(海外協定派遣対象)〈無利子貸与〉	海外留学支援制度の 支援期間と同じ期間	月額3万円~12.2万円·日本学生支援機構海外留学 支援制度(協定派遣)採用者対象	本部奨学厚生課
(独)日本学生支援機構第二種奨学金(短期留学)〈有利子貸与〉	3ヶ年~1年	月額3万円~15万円	本部奨学厚生課
Friends of UTokyo, Inc. 米国伊藤財団-FUTI奨学金	6ヶ月以上	学費、滞在費等 実情に合わせて幅広く支給	直接応募
*3(公財)吉田育英会 日本派遣留学プログラム	2年以内(審査のうえ1年以 内の延長あり)	学校納付金合計250万円以内、生活滞在費月額20 万円、扶養補助(該当者のみ)、往復渡航費	所属学部•研究和
*3(公財)竹中育英会 海外留学奨学生	修士2年以内 博士5年以内	大学納付金250万円以内、滞在費·渡航費等年額 200万円以内	所属学部・研究科
*3(独)日本学生支援機構 海外留学支援制度(大学院学位取得型) (大学とりまとめ応募)	修士2年以内 博士原則3年以内	月額8.9万円~14.8万円、授業料(年間上限250万円)	所属学部・研究和
*3(公財)中島記念国際交流財団 日本人海外留学奨学生	修士課程:最長2年 博士課程:最長5年	奨学金月額20万円、往復渡航費、支度金20万円、 授業料(留学当初の2年間、年間300万円以内)	直接応募
*3(公財)伊藤国際教育交流財団 日本人奨学生	原則2年以內	生活費月額1,500~2,000米ドル、学費(年間300万円以内)、往復旅費	直接応募
*3(公財)二十一世紀文化学術財団 海外留学助成金	原則2年以內	授業料2年分、研究活動費360万円 博士課程進学予定者対象	直接応募
*3(公財)本庄国際奨学財団 海外留学日本人大学院生奨学金	1~5年(学位取得までの最 短年限)	月額15~20万円	直接応募
(独)日本学生支援機構第一種奨学金(海外大学院学位取得型対象) 〈無利子貸与〉	海外留学支援制度の支援期 間と同じ期間	月額5万円~12.2万円·日本学生支援機構海外留学 支援制度(大学院学位取得型)採用者対象	本部奨学厚生課
(独)日本学生支援機構第二種奨学金(海外)〈有利子貸与〉	学位取得の標準修業年限以内	月額5~15万円	本部奨学厚生課

#### 2) 3ヶ月未満の留学が対象の奨学金

奨学金・プログラム名	支援期間	金額·対象	申請先
*1東京大学海外派遣奨学事業 超短期(3ヶ月未満)海外留学等奨学金	3ヶ月未満	月額6万円~10万円	所属学部·研究科
*2官民協同海外留学支援制度~トビタテ留学JAPAN日本代表プログラム~	1ヶ月~2年	月額12万円~16万円、留学準備金15~25万円、 学費等	所属学部·研究科
Friends of UTokyo, Inc. 米国の大学での夏季プログラムに参加する日本学生への奨学金	夏季の数週間	約3,000米ドル アメリカの大学での夏季プログラム等	直接応募

注)●支援内容は変更になる場合があるので、最新情報は東京大学Go Globalウェブサイトを確認すること。●\*1は東京大学独自の奨学金 ●\*2は支援機関が1ヶ月〜2年の奨学金のため、上 記の3ヶ月〜1年以上と3ヶ月未満の両欄に掲載している ●\*3は学位取得目的に限定されている奨学金 ●諸外国の政府または政府関係団体による、その国/地域の大学などへ留学する日本人を 対象にした奨学金制度については日本学生支援機構のウェブサイトを確認すること

### 2) 支援者及び先輩奨学生の声

#### Go Globalにチャレンジする東大生に社会が期待しています!

グローバルに活躍する人材の輩出を目指し、学生の留学・海外活動を推進する東京大学の取組には、卒業生をはじめとする社会から広く賛同を頂いています。そうした方々からの貴重なご寄附による奨学金も増えています。ここでは、支援者からのメッセージとともに、寄附奨学金プロジェクトの先輩奨学生からの声も併せて紹介します。

#### ゼンショー 東京大学・南京リベラルアーツ・学生交流プログラム

#### 支援者からのメッセージ

ゼンショー 東京大学・南京リベラルアーツ・学生交流プログラムは、株式会社ゼンショーホールディングスからのご寄附にもとづき、日本と中国の将来を担う人材を育成するため、東京大学が中国の大学と行う学生交流の教育プログラムです。中国を代表する大学のひとつである南京大学と連携し、リベラルアーツ教育を通して、双方の学生がともに考え、ともに啓発する中で信頼関係を育み、豊かな人間性を備えた知中派・知日派となることを目指します。本プログラムは①東大×南大共同フィールドワークin 南京(3月)、②サマースクール in 南京(8月)、③東大×南大共同フィールドワーク in東京(11月)などから構成されており、毎年①、②では各20名の学生を南京大学に派遣、③では南京大学より10名の学生を本学に迎え入れています。(p25参照)

#### 日中の未来を拓く知中派・知日派を

小川 賢太郎氏 株式会社ゼンショーホールディングス 代表取締役会長 兼 社長

今から400年前、世界人口は5億 人余、その60%はアジアに住んでいました。GDPの重心もアジアにありま

した。ところが1600年、世界最初の株式会社といわれるイギリス東インド会社(EIC)の設立と、1602年のオランダ東インド会社(VOC)の設立を境に、世界構造が急激に変化していきます。アジアの富のヨーロッパへの移動、本格的蓄積が始まり、これがヨーロッパにおけるその後の技術革新、産業革命へとつながり世界はヨーロッパによる支配の時代へと移行します。1585年3万人であった、アムステルダムの人口は1622年には3.5倍の10万5千人へと急増します。

今、世界の構造は400年ぶりの大転換期を迎えています。 世界人口に占めるアジアの比率は再び60%を超え、GDPの 重心も急速にアジアに移動しつつあります。

このような歴史の流れを見ると、アジア地域の安定的発展と世界全体の平和的発展のため、日中両国の果たすべき役割は大変大きいのではないでしょうか。そしてそれを具現化していくには、両国において幅広い知識をもとに物事を大局的・総合的に見て、判断し、行動する人財が不可欠であります。

南京大学におけるリベラルアーツのプログラムは東京大学の全面的な支援のもと、両国の歴史・文化・技術について深い理解を持った人財の育成を長期的視点で進めており、株式会社ゼンショーホールディングスも物心両面における全面的な支援をさせていただいております。

このプログラムが、日中両国について深い理解を持つ高度 人財を継続的に育て、日本と中国、そしてアジアと世界の安 定的発展に資することを期待しております。

#### 参加学生からの声



白石 菜々 教養学部文科一類 1年(当時)

私は「ゼンショー 東京大学・南京大学リベラルアーツ・学生交流プログラム」のうち、3月の東大×南大共同フィールドワークと8月のサマースクールに参加させていただきました。フィールドワークでは、南京大学生と町の隅々まで歩き回り、市井の人々に密着取材をしました。南京に着いた頃は、正直「歴史・文化・経済発展の町南京」「眉間にしわ寄せて歩く怖そうな中国人」といった印象しかありませんでした。ですが、密着取材を通じて市井の人の生活や人間関係、価値観などが見えてくると、街ゆく人々の背後にも暖かく優しい関係性が広がるのが見えるようになってきました。そして帰る頃には、南京という町がそれらを包み込む豊かなものとして再認識させられました。サマースクールでは中国語の授業に加えて、太極拳体験や企業訪問、場州・蘇州・無錫等の観光がとても充実していました。個人的には、江南の水郷古镇の美しさに圧倒されました。老後をここで過ごしたいと思うくらい、といえばその美しさが伝わるでしょうか。

これらのプログラムで得た価値観の変化、見識、そしてかけがえのない友人達が、私の人生の豊かな糧となったことは間違いありません。このような数々の素晴らしいプログラムを用意してくださった株式会社ゼンショーホールディングスに対し、深く感謝の意を表します。

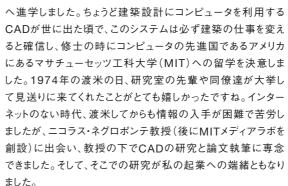
#### 奨学金寄附者からのメッセージ

### 知恵の創造に終わりない。 そのひとつのキーワードが、「Go Global!」

#### 長島 雅則氏

株式会社インフォマティクス 取締役会長

日本が高度経済成長に向かってひた 進んでいた時代、これから伸びゆく分野を 専門に選ぼうと考えていた私は建築学科



当時は欧米の方が進んでいた学問分野がたくさんあったように思いますが、現在は日本が先端を走る研究分野もありますし、インターネットの進化によって世界を結ぶ情報伝達インフラが整った今、外に出て学ぶ意味と意義は当時と比べて薄まったのかもしれません。ただ島国の日本はもともと型にはまり

やすい同質社会。外に出たがらない人が増えていくと、型破りのイノベーターが生まれにくい国になります。私はそこに危機感を覚えるのです。

海外での異文化で感じる「!?」に対処する日々は、自ら考え答えを導き出すための貴重な訓練となりました。本当に得難い経験をさせてもらったと思っています。しかし、そもそも海外に向かう志向の種を育んでくれたのは、東大で学んだ6年間であり、先生や学友たちとの対話でした。

そんな東大への恩返しの気持ちで寄附をさせていただきました。その寄附金を原資とし「長島雅則奨学基金」を設立していただき、東大生の海外派遣と留学生を支援しています。すでに7期の奨学生を輩出し、これまで海外留学等をする69名の学生へ奨学金が支給されています(※外国人留学生には別途67名に支給)。奨学生たちと交流できる機会に毎年参加していますが、皆とても元気だし、いい目をしている。これからもそんな学生を増やすための一助となれば嬉しいですね。

どんなことでもいい、まずは「これをやりたい!」という興味の種を見つけること。そして、その本質を知りたい、見極めたいという好奇心を持つことが大事です。心から知りたいものが見つかれば、そのヒントが国内にあるのであれ海外にあるのであれ、前を向いてがむしゃらに進んでいけばいい。本質や真理に近づくための、知恵の創造に終わりはありません。そのひとつのキーワードが、「Go Globa!! | だと思うのです。

※インタビュー全文はこちらで読めます。 東京大学基金ホームページ http://utf.u-tokyo.ac.jp/interview/15.html

東京大学では本ページで紹介したプロジェクトのほか、東京大学基金のもとに「Go Global奨学基金」を立ち上げ、卒業生や企業へ支援のお願いをしています。本基金の趣旨にご賛同頂いた多くの方々から多大なご寄附を頂き、東大生のGo Globalを支えて頂いています。

#### アメリカ留学の強い味方! "FUTI" (Friends of UTokyo, Inc.) の奨学金

FUTI(Friends of UTokyo, Inc.:東大友の会)は、東京大学の国際化を支援するために卒業生を中心に設立された、アメリカニューヨーク州登録のNPO団体です。プリンストン・プラズマ物理研究所の栄誉研究員である山田雅章教授(1966年工学部卒)が理事長を務め、卒業生や企業などの寄附をもとに奨学金給付や研究助成を行っています。FUTIの奨学金は、下記の2つの柱から成っています。

#### ●FUTI奨学金(p35参照):

アメリカへ夏季に留学する学生を対象とする奨学金です。2017年度には8名がこの奨学金を受給し、アメリカの大学でのサマーコースや語学研修コースに参加しました。奨学生は、「授業や実験は密度が濃く貴重な経験だった。ディスカッションを重視する授業では、自分の意見を明確に述べる必要を強く感じた。学業面でも文化面でも視野が拡がり、将来を考えるきっかけになった」といった感想を寄せています。

#### ●米国伊藤財団ーFUTI奨学金(p35参照)

アメリカへの1セメスター(2クォーター)以上の中長期留学を奨学金給付の対象とした奨学金です。この奨学金は、伊藤雅俊氏(株式会社セブン&アイ・ホールディングス名誉会長)が前途有為な学生を支援するために設立した米国伊藤財団からの支援を受けて、2016年度にスタートしました。2017年度には10名がこの奨学金を受給し、将来を切り拓くための留学に挑戦しています。また、2018年度より、活発な課外活動の結果、学業・英語学習に時間制約があった方を歓迎する奨学金(IF育英奨学金)の給付も開始します。

各奨学金の選考は、学業成績、エッセイ、推薦状などに基づいて行われますが、それに加えて、部活動、ボランティア活動など、大学の正課以外でもリーダーシップを発揮してきた東大生の応募を期待しています(詳細はFUTIのホームページのFAQを参照)。FUTIのネットワークは、奨学金の給付以外の面でも皆さんの留学生活のサポートになるでしょう。アメリカへの留学を考えている方は、ぜひ一度ホームページをご覧ください。http://www.todaitomonokai.org/



ハーバード大学でのサマーコースの様子 留学レポートはFUTIのホームページでご覧いただけ

# 3. 留学における学籍・単位認定

留学等のため海外へ渡航する場合には、所属する学部・研究科の 担当部署に事前に相談してください。東京大学での学籍上の手続き(留学願、休学願、海外渡航届など)が必要な場合がほとんどです。学籍上の取扱いによって、授業料納入の有無や単位互換の 可否が異なりますので注意してください。

※交換留学の場合は、「留学」の手続きとなります。

※留学先大学で取得した単位の本学における認定については、事前に留学時の所属学部・研究科の担当部署に相談してください。

※以下は一般的な情報です。学部・研究科等により異なる場合があります。

#### [海外渡航の際の主な学籍上の手続き]

●「留学」: 留学の手続きをとる

●「休学」: 休学の手続きをとる

上記の手続きをとらず、海外渡航する場合は、海外渡航届などの手続きを行ってください。(例:夏季休業期間を利用し、海外大学に語学留学する場合など)

[海外の大学で修学する場合の、学籍上の「留学」と 「休学|の違い]

「留学」の手続きによる場合と、「休学」の手続きによる場合の 違いについて、右に大まかなチャートを示しますので、参考にしてくだ さい

	「留学」の手続きに よる場合 (交換留学)	「留学」の手続きに よる場合 (交換留学以外)	「休学」の手続きに よる場合
留学先大学での 「単位」取得	可	可	可
留学先大学での 「学位」取得	不可	不可	場合により可
留学先大学で の授業料	払わない	払う	払う
東京大学での 授業料	払う	払う	払わない(ただし、休 学開始時期にもよる ので注意が必要)
修業年限	算入される	算入される	算入されない
本学での単位 認定	可(ただし、所属学 部・研究科が承認し た場合)	学部・研究科により 異なる	学部・研究科により 異なる

#### 外国の大学において取得した単位の取扱いに関する規則(学部学生)

《東京大学学部通則》

#### 第3章 留学

#### ■留学

#### 第14条の2

学部長は、教育上有益と認めるときは、学生が<u>休学</u><sup>注釈1</sup>することなく外国の大学において授業科目を履修し、単位を取得することを許可することができる。

2 前項の規定により外国の大学において修学する期間は、おおむね1年を限度とするものとする。

#### ■単位の認定

#### 第14条の3

学部長は、学生が留学の期間において修得した授業科目及び単位数については、前期課程においては10単位、後期課程においては30単位を超えない範囲で、本学における相当する授業科目及び単位数を修得したものとみなすことができる。

#### ■申請手続

#### 第14条の4

留学の許可及び単位の認定を受けようとする者は、<u>所定の申請書</u>注釈2 を学部長に提出しなければならない。

2 留学許可及び単位認定等の申請手続については、各学部の定めるところによる。

■休学期間中に外国の大学において取得した単位の取扱い 第14条の5

第14条の2の規定にかかわらず、学部長は、教育上有益と認めるときは、学生が休学期間中に外国の大学において授業科目を履修し取得した単位を、本学における相当する授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2 前項により修得したものとみなすことができる単位数は、第14条の3の規定により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて前期課程においては10単位、後期課程においては30単位を超えないものとする。

3 前2項の規定による単位認定等の申請手続については、前条の規定を準用する。

#### 注釈

1 休学して海外修学する場合は、休学期間は在学期間には含まれないため、その分、卒業の時期が遅れることになる。なお、休学期間中に海外の大学等で単位を取得した場合の本学における単位の取扱いは、第14条の5の規定により各学部の定めによるので、教務担当窓口で確認すること。

2「留学許可願」を担当窓口に提出する。

留学についての詳細は、留学時に在籍する学部の担当窓口 に事前に相談し確認すること。

※大学院学生については以下を参照のこと。

- ●東京大学大学院学則 第28条(留学)
- ●東京大学大学院専門職学位課程規則 第23条(他の大学院 における授業科目の履修等)

#### 外国の大学において取得した単位の各学部・研究科の取扱い例

※詳細については、各学部・研究科等の規則や、教務担当窓口で確認すること。

#### 学部

#### 法学部

法学部において開設されている授業科目に相当する場合には、これを「相当科目」として認定する。相当科目に該当しない場合において相当と認めるときは、随意科目として認定する。なお、対象とする大学は別に定めがある。

#### 工学部

当該学科の審査により、科目配当表の単位として認定することができる。また、それ以外の科目についても学科で必要と認めた場合には、卒業単位に算入することができる。

#### 文学部

外国の大学で取得した単位の認定は、交流協定のある大学に「留学」した場合及び休学して外国の大学に「修学」した場合に限る。学部教務委員会において適切と判断された場合は、必修科目または必修科目以外の科目に認定され、卒業単位に含めることができる。

#### 理学部

シラバス、成績等により審査をおこない、東京大学理学部規則別表に定める授業科目及び単位数に振り替えることができる。また、選択科目として、卒業に必要な単位数に含めることができる。

#### 農学部

留学先大学の成績証明書、時間割およびシラバス 等を指導教員又は学部委員に提出し単位認定を申 請した場合、所属専修および教育会議の議を経て認 定する。

#### 経済学部

単位の認定・振替は、学生交流協定に基づき「留学」の身分により派遣された場合に限る。学部教務委員会・学部教授会で適切と判断された場合、本学部の基準で単位数を換算の上、単位の振替・認定が認められる。学則・内規に沿って運用をしているので、単位の認定・振替を希望する者は、留学生・国際交流担当チームへ事前に相談に来ること。

#### 教養学部(前期課程)

外国の大学で取得した単位の扱いについては必ず 事前に教務課前期課程係(PEAK生は国際化推進 係)で説明を受けること。

#### 教養学部(後期課程)

本学と学生交流覚書を締結している大学に留学等を して取得した単位については、所定の期間内に単位 認定を申請した場合、定められた上限単位数まで卒 業単位として認定を受けることができる。詳細につい ては「教養学部便覧」を参照のこと。

#### 教育学部

原則として、全学学生交流に基づく交換留学協定校 等、本学からの推薦に基づく派遣先大学に限る。選 択科目の単位として一括して認定することができる。 単位の認定は学務委員会の議を経た後、教授会で 承認する。

#### 薬学部

単位認定を希望する者は、事前に教務チームに相談すること。

#### 大学院

#### 法学政治学研究科

〈総合法政専攻〉においては、学生が留学先大学で単位を取得した科目の認定には、学生からの単位認定申請にもとづき、学務委員会で判断する。なお、休学中に外国の大学院において取得した単位についても、認定することは可能である。

#### 医学系研究科

外国の大学院等で修得した単位の認定は、休学(休学理由が「海外の教育・研究施設において修学」の場合に限り)および留学の場合に、修士課程及び博士課程を通じて10単位を超えない範囲で、研究科として認定の可否を行うので、医学部大学院係へ相談すること。

#### 工学系研究科

外国の大学院に「留学」して、当該大学院において 専攻分野に関する授業科目を履修し、修得した単位 は、申請により、本研究科における相当する科目・単位として、修士及び博士後期課程を通じて10単位ま で認定される。留学先大学で修得した単位は、当該 大学院の履修時間及び採点基準を考慮して、本学 の基準で単位数及び成績の換算をする(そのまま本 研究科と同じ単位数として換算されるとは限らない)。 ※休学して外国の大学院に「修学」した時の、当該 大学院で修得した単位は、本研究科修了単位には 認定されない。

#### 人文社会系研究科

留学又は休学期間中に外国の大学の大学院において修得した科目及び単位は、修士課程及び博士後期課程を通して10単位を限度として、自由選択科目の単位に算入することができる。なお、休学の理由は「海外修学」に限る。

#### 理学系研究科

外国の大学の大学院において専攻分野に関する授業科目を履修し単位を取得した場合、修士課程及び博士後期課程を通じて、10単位を超えない範囲で本研究科において単位を認定することができる。希望者は、波航前に専攻事務室で手続に関する指示を受けること。

#### 農学生命科学研究科

所属専攻および教育会議の議を経て認定する。手続きは留学前に行うこと。認定範囲、提出書類等は教 務課へ相談すること。

#### 経済学研究科

単位の認定・振替は、学生交流協定に基づき「留

学」の身分により派遣された場合に限る。教育会議 にて適切と判断された場合、本学部の基準で単位数 を換算の上、単位の振替・認定が認められる。学則・ 内規に沿って運用しているので、単位の認定・振替を 希望する者は、留学生・国際交流担当チームへ事前 相談に来ること。

(2018 04 01 現在)

#### 総合文化研究科

留学又は休学期間中に外国の大学の大学院において取得した単位は、10単位を超えない範囲で本研究科の授業科目及び単位として認定することができる。単位の認定を希望する場合は、留学又は休学期間終了後に総合文化大学院係で必要な手続きをとること。授業科目及び単位の認定は、認定希望者からの申請を専攻等で審査のうえ、研究科教育会議で決定する。なお、本研究科の授業科目及び単位の認定の申請ができる休学の理由は、原則として海外修学のみとする。

#### 教育学研究科

留学又は休学期間中に外国の大学の大学院において取得した科目及び単位は、研究科教育会議の議を経て、本研究科における選択科目に相当する科目及び単位として認定することができる。ただし、認定できる単位数は、修士・博士課程を通じて10単位を超えないものとする。単位の認定を希望する場合は、学生支援チームにあらかじめ相談すること。

#### 薬学系研究科

単位認定を希望する者は、事前に教務チームに相談すること。

#### 数理科学研究科

単位認定を希望する者は、事前に教務係に相談する こと。

#### 新領域創成科学研究科

外国の大学院等で修得した単位の認定は、休学(休学理由が「海外の教育・研究施設において修学」の場合に限り)および留学の場合に、修士課程及び博士後期課程を通じて10単位を超えない範囲で、研究科として認定の可否を行うので、新領域創成科学研究科教務係へ相談すること。

#### 情報理工学系研究科

当該専攻の審査により、10単位を限度として修了単位に認定することができる。

#### 学際情報学府

留学又は休学期間中に外国の大学の大学院において修得した科目及び単位は、本学府の承認を得ることにより、修士課程及び博士課程を通じて、10単位を超えない範囲で、他研究科科目の単位として、認定することができる。単位認定を希望する者は、事前に学務係に相談すること。

#### 公共政策学教育部

公共政策学教育部において、教育上必要とみとめる 時は、他の大学院において履修した授業科目につい て修得した単位を、修了要件として定める単位数の2 分の1を超えない範囲内で認定することができる。

# 4. 語学能力検定試験

留学する場合、留学先大学が求める語学能力の基準を満たす必要があります。語学能力試験は、受験予約が取りにくかったりする場合や、また、新規の留学プログラムの募集の場合、募集開始から書類提出締め切りまでの期間が非常に短い場合もあります。締切日までにスコアを取得できない学生が例年見受けられますので、留学を考えている場合は早めに受験し、常に有効期限を満たすスコアを所持しておくようにしましょう。

#### 英語圏への留学

英語圏の大学の留学にはTOEFL iBTやIELTS (Academic Module)のスコアの提出が一般的です。TOEICや英検は日本の就職活動等では広く用いられますが、大学への留学の際に語学能力証明として認められていないケースも多いため、注意してください。また、TOEFL PBTやTOEFL ITPも公式スコアとして認められないケースがあります。

	TOEFL IBT	IELTS (Academic Module)
概要	米国を始め世界各国の大学等で英語力の証明として利用されており、130を超える国々の9,000以上の大学、機関、その他の団体が TOEFL テストスコアを受け付けている。	英国、オーストラリア、カナダ、ニュージーランドのほとんどの教育機関で受け入れられており、米国でも広がっている。Academic Module(大学や他の高等教育機関への出願のためのテスト)とGeneral Training Module(一般的な生活、仕事や、移住関係に関わる英語のテスト)の2種類がある。
スコア	0~120(1ポイント刻み)	1.0~9.0(0.5ポイント刻み)
試験日	ほぽ毎週末、年間50回以上	東京は毎月3回程度実施
受験料	US \$235(通常申込時)	25,380円
スコア有効期限	2年間	2年間

関連ウェブサイト: TOEFL https://www.ets.org/jp/toefl IELTS http://www.eiken.or.jp/ielts/

※2018年3月現在の情報を掲載しています。

学内で開講している「スペシャル・イングリッシュ・レッスン(SEL))(p28)では、日常会話、プレゼンテーション、TOEFL対策講座等の有料のプログラムを提供しています。留学応募前または留学が決まった後の英語力向上に活用してください。

#### 英語圏外への留学

留学先の大学によって必要な語学能力の基準が設定されている場合があります。下表に示す語学能力試験は一例ですが、一般的に日本語話者向けの検定(例:実用フランス語技能検定試験 等)は海外大学への留学の際に語学能力として認められないケースも多いため、注意してください。また、語学能力試験によって有効期間が異なるので、必ず試験実施団体のウェブサイト等を確認しましょう。

#### (英語以外の語学能力試験例)

語学能力試験	言語
нѕк	中国語
TOPIK/KLPT	韓国語
DELF-DALF/ TCF/TEF	フランス語
DELE	スペイン語
DSH/Test DaF	ドイツ語

# 5. 安全と危機管理

海外では、不慣れな場所で、どこにどのような危険があるのかが十分に把握できないこともあるため、交通事故・窃盗・強盗・詐欺など、様々な被害に遭う可能性が高くなります。危険を感じる状況等をできるだけ避け、常に危険等を予測してから行動するよう心がけてください。

学生が海外渡航する機会が増えている現状、また、今後も増えることが予想されることを受け、東京大学の学生及び教職員のための『海外渡航危機管理ガイドブック』を作成しています。海外に渡航する学生は必ず本ガイドブックを熟読し、海外でのリスクについて事前に知り、十分に準備するようにしてください。

『海外渡航危機管理ガイドブック』

http://www.u-tokyo.ac.jp/ja/administration/go-global/voyage/index.html

#### 保険への加入

海外渡航中の保険については、必ず出発前に出発から帰国まで期間をカバーする海外旅行保険・留学保険等に加入してください。プログラムによっては、公益財団法人日本国際教育支援協会(JEES)の学研災付帯海外留学保険「付帯海学」に加入することが参加の条件となります。(グローバルキャンパス推進本部担当のプログラムについてはこれに該当します)

また、留学先大学等に指定する保険に加入することを求められた場合は、併せて保険に加入してください。

※日本の海外旅行保険・留学保険等は出国後には加入できないため注意すること。

#### 海外安全危機管理サービス「OSSMA, Overseas Student Safety Management Assistance(オスマ)」

OSSMAは、海外滞在中に困ったことが発生した際に24時間365日・日本語・英語により適切なサポートを提供するサービスです。サービスの内容は、病気や怪我の電話相談、安否確認、ご家族渡航サポート等となっており、東京大学では、海外に渡航する学生向けに試行導入しています。詳しくは、以下のホームページをご覧

http://www.u-tokyo.ac.jp/res03/ossma.html

#### 所属学部・研究科での届け出

留学等により海外渡航する際には、渡航目的により「留学許可願」、「海外渡航届」、「休学願」等の提出が必要になります。所属学部・研究科等の担当部署に確認し、必要な手続きを行ってください。

#### 健康管理と安全管理に関する事前準備

『海外渡航危機管理ガイドブック』を参考に、海外において安全、快適に研究・学習等を行っていくうえで欠かせない「健康管理」と「安全管理」の両面から、渡航前の危機回避対策を必ず行ってください。(健康診断、歯科検診、常備薬の準備、予防(ワクチン)接種、渡航先国に関する情報の事前収集、緊急対応リストの携行など)

なお、東京大学の保健センターでは、渡航前医療相談を実施しています。

http://www.hc.u-tokyo.ac.jp/受診のご案内/内科/トラベルクリニック/

#### 日本大使館・領事館への「在留届」の提出

海外に3ヶ月以上滞在する場合は、必ず、最寄りの日本大使館・領事館に「在留届」を提出してください。(旅券法16条により義務付けられています。インターネットによる提出も可能です。)万一、海外で事件・事故や思わぬ災害に巻き込まれた場合、日本国大使館や総領事館はこの「在留届」をもとに日本人の所在地や緊急連絡先を確認して援護します。※転居・帰国の際にも必ず届け出ること。

また、外務省は、3ヶ月未満の滞在を対象に、2014年7月以降「たびレジ」システムを導入しました。同省の専用サイトに必要事項(旅行日程・滞在先・連絡先)を入力することにより、滞在先の最新情報や緊急事態発生時の連絡メール、あるいは、いざという時の緊急連絡等の受け取りが可能です。東京大学は、この登録を強く推奨します。

外務省ホームページ

http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/todoke/index.html

#### 海外渡航中の報告・連絡・相談

海外渡航中、何か問題が生じた場合や相談事があるような場合、また緊急事態等が発生した場合は、速やかにプログラムの担当者や東京大学の担当者に報告・連絡・相談してください。

また、現地で天災、新型インフルエンザ等の感染症、テロ等が発生した場合は、たとえ自分には何も被害がなくても、安否について速やかに東京大学の担当者に連絡してください。なお、家族にも定期的に連絡を取るようにしてください。

#### その他

海外でも東京大学の学生であることを常に自覚し、行動や振る 舞いには十分気をつけましょう。

その他、プログラムの担当者、本学所属学部・研究科、指導教員 等の指示に従い、安全と危機管理に十分注意してください。



## 6. 留学と就職活動

留学を考える際に、就職活動のことが気になる学生も多いかと思います。留学経験があるということだけで就職活動で高く評価される時代ではありませんが、「留学を就職活動にプラスに活かす」ことはもちろんできます。留学は自分を見つめ直すよい機会でもあります。帰国後に就職活動であわてないために参考にしてください。

#### 就職活動のスケジュールはどうなるの?

2019年(2018年度)以降に卒業・修了となる学生の就職活動 時期は下記の通りです。(下記の図参照)

会社説明会などが解禁となり企業の採用情報が公開となるのは 学部3年(修士1年)の3月で、2017年度と変わりありません。面接 などの選考開始は学部4年(修士2年)の6月からとなり、エントリー シートやWebテスト選考は6月前から実施可能となっています。

外資系やベンチャー企業など独自のスケジュールで採用選考を 行う企業もありますので注意が必要です。企業の採用スケジュール とともに、留学先や留学・卒業の時期などそれぞれの事情にあわせ て、ご自身の就職活動を考えてみましょう。

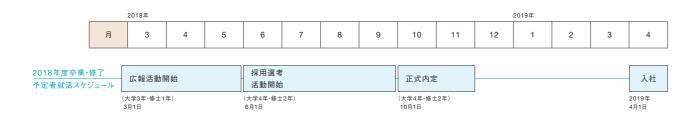
#### 留学中の就職活動はどうなるの?

まずは、就職活動に関する情報収集をしましょう。

海外留学を経験した学生向けの就職情報サイトも充実しています。資料請求もサイトからできるので、必要にあわせて登録をしておきましょう。

多くの企業がWebサイト上に採用情報を公開しています。海外にいながらエントリーはもちろん、選考まで進める企業もありますし、場合によっては留学中の状況を考慮して選考してくれる企業もあります。行きたい企業が見つかったらコンタクトを取ってみてください。また採用時期にこだわらず、通年で採用している企業も増えてきています。いずれにせよ、年度によって企業の状況は変わりますので、先輩や友達の話を鵜呑みにせず、かならず企業の情報は自分で確認してください。

日英バイリンガルのための就職イベント(キャリアフォーラム)もボストン、ロンドン、ロサンゼルス、シドニー、ニューヨークなどで開催されています。日本企業も多数参加していますので、留学先によっては参考にしてください。



#### 留学をプラスに…?

何を目的として目的として留学するのでしょうか?短期間の語学留学、単位取得の交換留学、学位取得を目的とした留学…。留学の目的を達成することは言うまでもありませんが、何回も経験出来ることではありませんので、留学生活を大切にして、友達を作り、毎日を楽しみ、日本ではできないことをたくさん経験してきてください。

でも、「楽しかった」だけで終わらせないでください。そこから学んだこと、考えたこと、その結果、どう行動に移したかなどを書きとめて成長していく自分の記録を残してみましょう。その中でやりたいことが見つけられかもしれません。やりたいことにたどり着かなくとも、留学前の留学後でどのように成長したかを表現することで、就職活動に活かすことができるでしょう。留学経験がある場合、企業から「なぜ留学したのか、留学を通じて何を得たか」は必ずといっていいほど聞かれる質問です。留学中もこの問いを時々意識することで結果は変わってくるでしょう。

#### 留学前に大学の窓口を利用しましょう

大学の留学フェアを利用して先輩や留学担当の方などから話をたくさん聞き、より多くの情報を収集しましょう。また本郷のキャリアサポート室では就職活動のスケジュールをはじめ、留学か進学か迷ったときや、企業分析や自己理解などの相談に専門のキャリアアドバイザーが個別にお応えします。先輩の進路情報もありますので、利用してください。

キャリア相談は予約優先ですので、キャリアサポート室のウェブサイトからお申し込みください。

#### 東京大学 キャリアサポート室

www.careersupport.adm.u-tokyo.ac.jp/

# 7. 東京大学の留学・国際交流関係部署

学部·研究科名	海外留学・国際交流に関する情報入手先	担当部署
グローバルキャンパス推進 本部	GoGlobalウェブサイト http://www.u-tokyo.ac.jp/ja/administration/go-global/ Go Global Facebookページ https://www.facebook.com/todai.go.global その他の情報入手先については情報収集方法(p33)を参照	国際交流課(理学部1号館東棟1階)(留学全般・留学体験記等に関するお問合せ) studyabroadfair.adm@gs.mail.u-tokyo.ac.jp 留学生・留学情報サポートデスク(理学部1号館東棟1階)
法学部 法学政治学研究科	学部: http://www.j.u-tokyo.ac.jp/students/undergraduate/exchange/ 法学部掲示板 大学院(総合法政専攻): http://www.j.u-tokyo.ac.jp/students/graduate/fees/ 大学院(法曹養成専攻): http://www.j.u-tokyo.ac.jp/students/law/fees/	學部·教務係、留学生担当(法文1号館2階) 大学院·大学院係、留学生担当(法文1号館2階)
医学部 医学系研究科	募集関係の情報: 医学部掲示板·医学系研究科掲示板 学部·研究科の留学等情報: http://koryu.m.u-tokyo.ac.jp/	【学部】カリキュラム・時間割、各種申請(休学・留学等)に関すること:教務係(2号館1階) 【大学院】カリキュラム・時間割、各種申請(休学・留学等)に関すること:大学院係(2号館1階) 留学全般に関する相談:国際交流室(総合中央館2階)
工学系研究科	**はじめに必ずご確認ください(募集関係の情報):学生・院生用情報ボータルサイト(学生専用・非公開) ボータルサイトURLは非公開のため、学部・大学院チームにお問い合わせください。 学部・研究科の交換留学について(OICEウェブサイト): http://www.oice.t.u-tokyo.ac.jp/index.html 派遣プログラム・奨学金一覧: http://info.t.u-tokyo.ac.jp/k_suisin1/oice/haken.html	国際交流チーム(8号館1階)
文学部 人文社会系研究科	在学生ポータル http://www.l.u-tokyo.ac.jp/student.html http://www.l.u-tokyo.ac.jp/student/study_abroad.html	学部:教務関係相談→教務係(法文2号館1F事務室) 手続き等に関すること→大学院係(法文2号館1F事務室) 大学院:大学院係(法文2号館1F事務室)
理学部 理学系研究科	掲示板 (学務課および国際化推進室前) ウェブサイト(NEWS/お知らせ) http://www.s.u-tokyo.ac.jp/ja/current/	全学プログラムや、単位認定・学籍等の学務関係に関すること: 教務チーム(理学部1号館東棟2階) 理学部・理学系研究科プログラム等に関すること:国際化推進室(理学部1号館東棟2階)
農学部 農学生命科学研究科	http://www.a.u-tokyo.ac.jp/cstudents/index.html	教務課学生支援チーム各担当(農学部3号館1階学生サービスセンター) 単位認定・学籍等の学務関係(学部):学部学生担当 単位認定・学籍等の学務関係(大学院):大学院学生担当 留学に関する奨学金及び各種留学プログラム関係:学生生活担当
経済学部 経済学研究科	http://www.gaia.e.u-tokyo.ac.jp/is/haken.html	学部:教務係、留学生・国際交流担当チーム(経済学研究科棟5階) 大学院:大学院係、留学生・国際交流担当チーム(経済学研究科棟5階)
教養学部 総合文化研究科	【学部・研究科共通】 http://www.globalkomaba.c.u-tokyo.ac.jp 国際交流支援係の掲示版 グローバリゼーションオフィス前の掲示板 【前期課程】 http://www.c.u-tokyo.ac.jp/zenki/index.html PEAK生向け: http://www.c.u-tokyo.ac.jp/eng_site/zenki/ 【後期課程】 http://www.c.u-tokyo.ac.jp/fas/index.html PEAK生向け: http://www.c.u-tokyo.ac.jp/eng_site/fas/ 【総合文化研究科】 http://www.c.u-tokyo.ac.jp/graduate/index.html GPEAK生向け: http://www.c.u-tokyo.ac.jp/eng_site/graduate/	プログラムの内容・手続きに関すること:国際交流支援係(アドミニストレーション棟1階) 教務に関すること:前期課程係・後期課程係・国際化推進係・総合文化大学院係(アドミニストレーション棟1階) 部局間協定に基づく交換留学に関すること:国際研究協力室(101号館2階) その他、留学全般に関すること(国際研修、留学経験者によるアドバイジングなどを含む) 国際化教育支援室・駒場支部(21KOMCEE West地下1階)/グローバリゼーション オフィス(21KOMCEE West地下1階)
教育学部 教育学研究科	教育学部学生支援チームホームページ(学生専用・非公開) http://www.p.u-tokyo.ac.jp/~edudaiga/index.htm	学生支援チーム学部担当・大学院担当(教育学部棟1階)(教務に関する相談)、学生支援チーム国際交流担当・国際交流室(教育学部棟1階)(留学全般に関する相談)
薬学部 薬学系研究科	学部・研究科の留学等情報: http://www.f.u-tokyo.ac.jp/~israr/ja/isar/study_abroad.html	国際交流室(薬学部本館1階)(留学全般に関する相談) 教務チーム(薬学部本館1階)(学務関係の相談)
数理科学研究科	掲示板/国際交流室ホームページ http://www.ms.u-tokyo.ac.jp/kyoumu_e/liaison_e.html	教務課數理科学教務係 数理科学研究科棟1階事務室(119号室)
新領域創成科学研究科	募集関係の情報: 新領域創成科学研究科電子掲示板(学生専用·非公開) 研究科独自の留学等情報: http://www.ilo.k.u-tokyo.ac.jp/	単位認定:学籍等の学務関係に関すること:教務係(基盤棟1階) 部局間協定に基づく学生交流に関すること:国際交流室(環境棟120)
情報理工学系研究科	留学に関すること全般: http://www.i.u-tokyo.ac.jp/edu/inter_ex/oir/index.shtml 募集や奨学全等の情報: http://info.t.u-tokyo.ac.jp/k_suisin1/oice/haken.html	国際交流チーム(工学部8号館1階161号室)
学際情報学府	学際情報学府ポータルサイト(学府学生専用)	学務係(留学生支援室)(情報学環本館1階)
公共政策学教育部	募集·奨学金関係の情報: http://www.pp.u-tokyo.ac.jp/student-bulletin-cat/study-abroad/ 公共政策学教育部独自の留学等情報: http://www.pp.u-tokyo.ac.jp/international-exchange/double-degree-program/	公共政策大学院係(国際学術総合研究棟13階)(留学手続き・全学交換留学に関する 事項) 国際交流担当(国際学術総合研究棟13階)(部局間協定に基づく学生交流)

## 8. よくある質問

#### 【留学準備】

### Q. 留学を希望する場合、いつ頃から準備を始めればよいですか?

(全学交換留学の場合)およそ留学の1年前に募集が行われるので、その時期に応募できるよう、早めに語学学習や語学能力試験の受験を進めておきましょう。

(サマープログラム等短期留学)グローバルキャンパス推進本部が担当する夏季短期留学の場合、プログラムによって異なりますがその年の1~2月及び4~5月に募集が行われるプログラムが最も多いので、その時期に応募ができるよう、早めに語学学習や語学能力試験の受験を進めておきましょう。個人で応募するプログラムも、早い物では2~3月に応募が締め切られるものもありますが、中には6月頃まで申し込み可能なものもあります。

#### 【学籍・単位】

### Q. 1学期~1年の間留学しても4年間で学部を卒業できますか?

交換留学の場合、期間や時期、単位取得や単位認定の状況によっては、4年で卒業が可能な場合もありますが、1年間の留学だと留年が必要となるケースも多くあります。所属学部に確認の上、計画的に授業履修や留学の準備を行って下さい。ただし、単位の取り扱いは学部毎に異なりますので、必ず交換留学の計画段階で所属学部に確認して下さい。(参考p38-39)

### Q. 現在休学しているのですが、全学交換留学や東京大学のプログラムに応募できますか?

留学時に休学から復帰していれば応募可能なプログラムもありますが、必ず各学部・研究科の担当部署に確認をして申請してください。

#### 【応募条件·選考】

#### Q. 前期課程の学生も全学交換留学に参加できますか?

できます。ただし、前期課程の科目の履修計画に関する留意点や、 外国の大学で取得した単位の扱いについては必ず教務課前期課 程係(PEAK生は国際化推進係)で事前に説明を受けるようにして ください。

### Q. 英語に自信がなくても参加できる留学プログラムはありますか?

語学を学ぶプログラムもありますので、Go Globalウェブサイトなどでよく調べてみてください。一口に留学といっても、プログラムごとに目的や内容・レベルは様々ですので、自分のイメージだけで判断せず、事前にプログラムをよく調べて自分に適したプログラムに参加するようにしましょう。

#### Q. 全学交換留学の学内選考はどのように行われますか?

全学交換留学の派遣候補者は、各学部・研究科を通じた申請を経て学業成績・語学能力・申請書の記述内容や面接等によりグローバルキャンパス推進本部で総合的に選考審査を行います。(2017年度現在)

### Q. Go Globalのウェブサイトには締切日や提出先が記載されていない場合がありますが、どこで確認できますか?

東京大学では多くのプログラムで、自分の所属している学部・研究科に応募書類を提出することになります。締切日や提出先は各学部・研究科ごとに異なりますので、Go Globalウェブサイト上には記載されていないことがあります。各学部・研究科のウェブサイトや掲示板、窓口等で必ず確認するようにしてください。

#### 【費用】

#### Q. 留学に行く場合、費用はどのくらいかかりますか?

(交換留学の場合)行く地域にもよりますが、日本で生活するのとあまり変わらない程度の費用で留学することができます。渡航費や生活費などは必要ですが、東京大学に授業料を納めていれば、留学先での授業料は不要となるためです。交換留学の場合、協定校の寮が利用できる場合が多く、奨学金制度も充実しているので、安い費用で留学することも可能です。(参考p34-35)

(サマープログラム等短期留学の場合)費用はプログラムによって大きく異なります。ほぼ無料で参加できるものから、数十万円のプログラムまで様々ですので、よく調べ、予算に応じて参加プログラムを検討して下さい。(参考p14-15)

#### 【その他】

#### Q. 各プログラムの応募の倍率はどのくらいですか?

Go Global ウェブサイトの統計資料のページで応募状況や派遣 実績を公開しています。人気が集中し倍率が高くなる留学先もある ので、併願ができる場合は複数の留学先に併願することをおすすめ します。

### Q. 現在申し込もうと考えているプログラムの詳細や、過去の参加者の経験はどこで知ることができますか?

まずは留学先大学が作成しているプログラムのウェブサイトやパンフレットをよく読んでみてください。また、グローバルキャンパス推進本部が担当するプログラムでは、Go Globalウェブサイト上に過去の参加者による詳細な報告書・留学体験記を掲載しているので、確認しましょう。また、学内選考を通過した場合は、派遣前のオリエンテーション等で過去の参加者と情報交換できる機会もあります。

# Q. 短期留学プログラムなどに参加したいのですが、東大の授業やテスト期間と時期が重なっている場合はどうなりますか?

海外の大学は6月~7月が夏休みのところが多いため、その時期に開催されるプログラムも多くなっています。自分の授業・試験日程などを応募前に十分確認し、参加が可能なプログラムに応募してください。留学のために東大の授業や試験に出席できない場合の扱いについては、留学時に所属する学部・研究科の判断によるところとなります。留学プログラム等への参加に際して、特別な配慮が行われるとは限りませんので、学部・研究科等の窓口で事前に十分確認し、納得した上で参加申請を行ってください。

#### Q. 留学について相談したいのですが、どこで相談に乗って もらえますか?

現在募集中のプログラムに関する具体的なことについては、所属している学部・研究科の担当部署や、募集要項に記載されている問い合わせ先に確認するようにしましょう。

その他、留学に関する全般的な質問・一般的な質問は本郷キャンパスのGo Globalセンター内、留学生・留学情報サポートデスクで受け付けています。

また、特定の学問分野の留学事情などについては、所属している 学部・研究科の担当部署や、指導教員、先輩などに相談してみるの もよいでしょう。



[編集・発行] 2018年4月1日/東京大学グローバルキャンパス推進本部 [E-mail] studyabroadfair.adm@gs.mail.u-tokyo.ac.jp [Web] https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/